

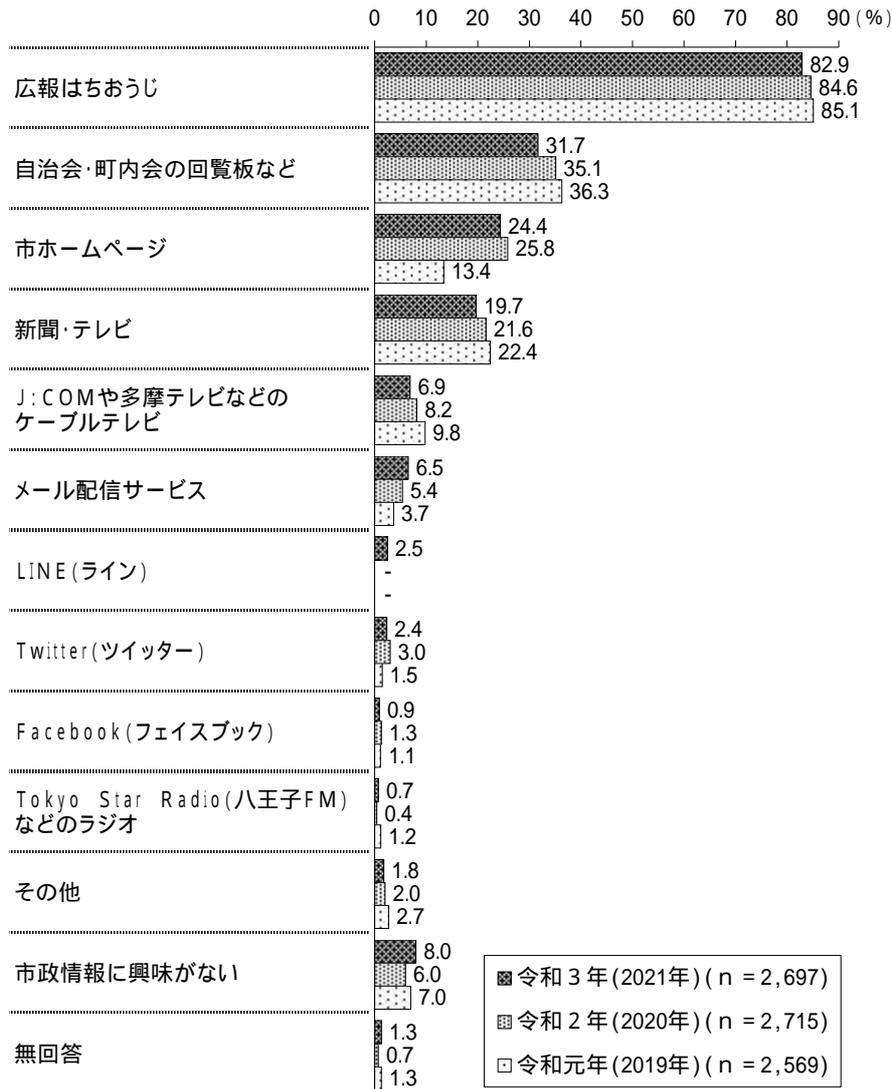
## 2. 市政情報の入手方法と効果的な発信について

### (1) 市政情報の入手方法

「広報はちおうじ」が8割強

問9 あなたは、市政情報（市の制度やイベントの情報など）を何から得ていますか。  
（はいくつでも）

図2-1-1 市政情報の入手方法 - 全体、経年比較



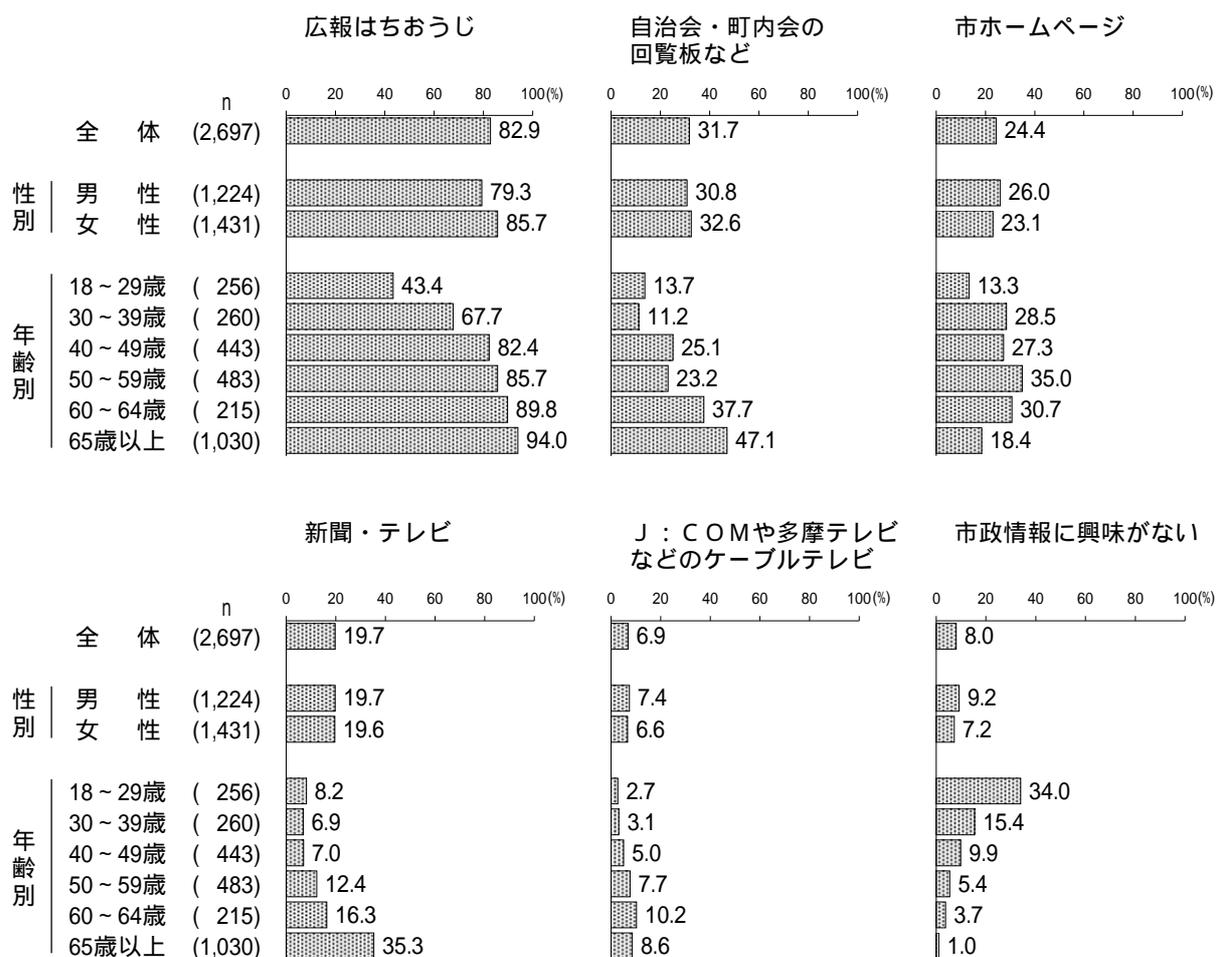
(注)「LINE(ライン)」は、令和3年(2021年)から追加された選択肢。

(注)「Tokyo Star Radio(八王子FM)などのラジオ」は、令和元年(2019年)までは、「八王子FMなどのラジオ」としていた。

市政情報（市の制度やイベントの情報など）を何から得ているか聞いたところ、「広報はちおうじ」(82.9%)が8割強で最も多くなっている。次いで「自治会・町内会の回覧板など」(31.7%)、「市ホームページ」(24.4%)、「新聞・テレビ」(19.7%)などの順となっている。

前回までの調査と比較すると、「自治会・町内会の回覧板など」は令和2年(2020年)(35.1%)より3.4ポイント減少している。(図2-1-1)

図2 - 1 - 2 市政情報の入手方法 - 性別、年齢別（上位5位 + 「市政情報に興味がない」）

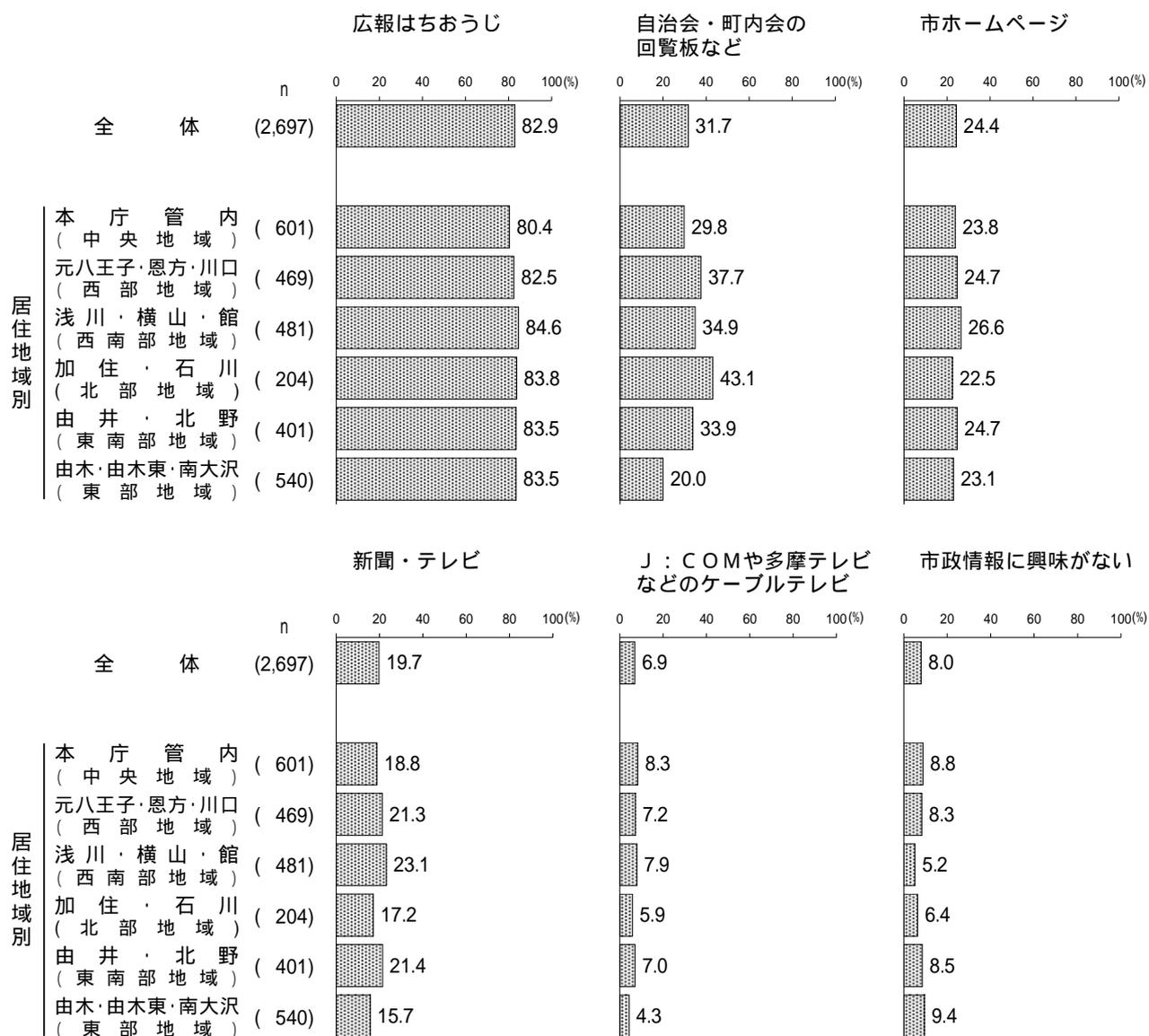


性別にみると、「広報はちおうじ」は女性（85.7%）が男性（79.3%）より6.4ポイント高くなっている。一方、「市ホームページ」は男性（26.0%）が女性（23.1%）より2.9ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「広報はちおうじ」は年代が高くなるほど割合が高く、65歳以上（94.0%）で9割台半ばと多くなっている。「自治会・町内会の回覧板など」は65歳以上（47.1%）で5割近くと多くなっている。「新聞・テレビ」は65歳以上（35.3%）で3割台半ばと多くなっている。

（図2 - 1 - 2）

図2 - 1 - 3 市政情報の入手方法 - 居住地域別（上位5位 + 「市政情報に興味がない」）



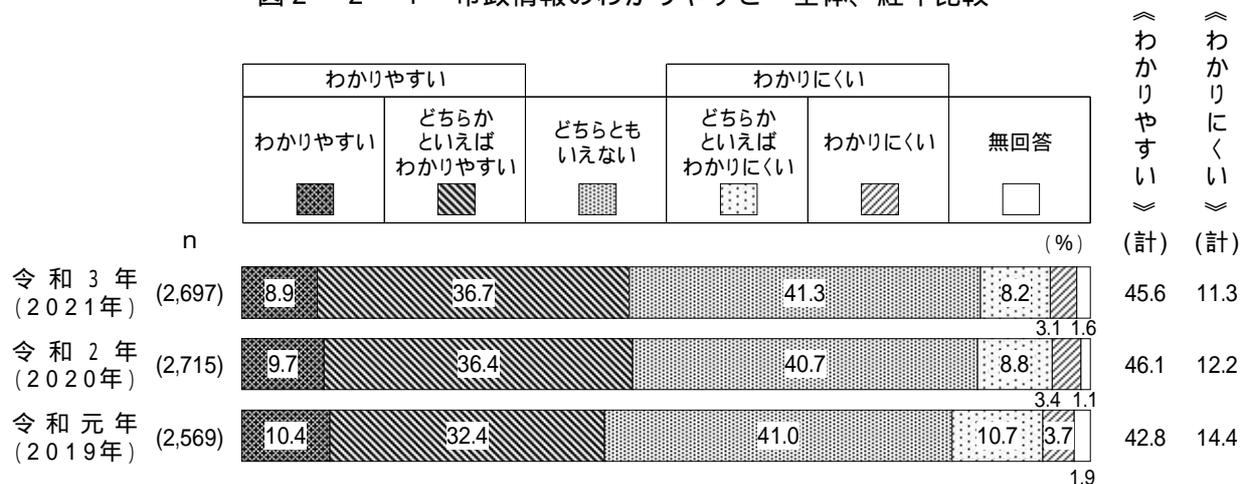
居住地域別にみると、「自治会・町内会の回覧板など」は加住・石川(北部地域) (43.1%) で4割強と多くなっている。(図2 - 1 - 3)

## (2) 市政情報のわかりやすさ

わかりやすい が4割台半ば

問10 あなたは、市政情報が適切にわかりやすく提供されていると思いますか。( は1つだけ)

図2-2-1 市政情報のわかりやすさ - 全体、経年比較

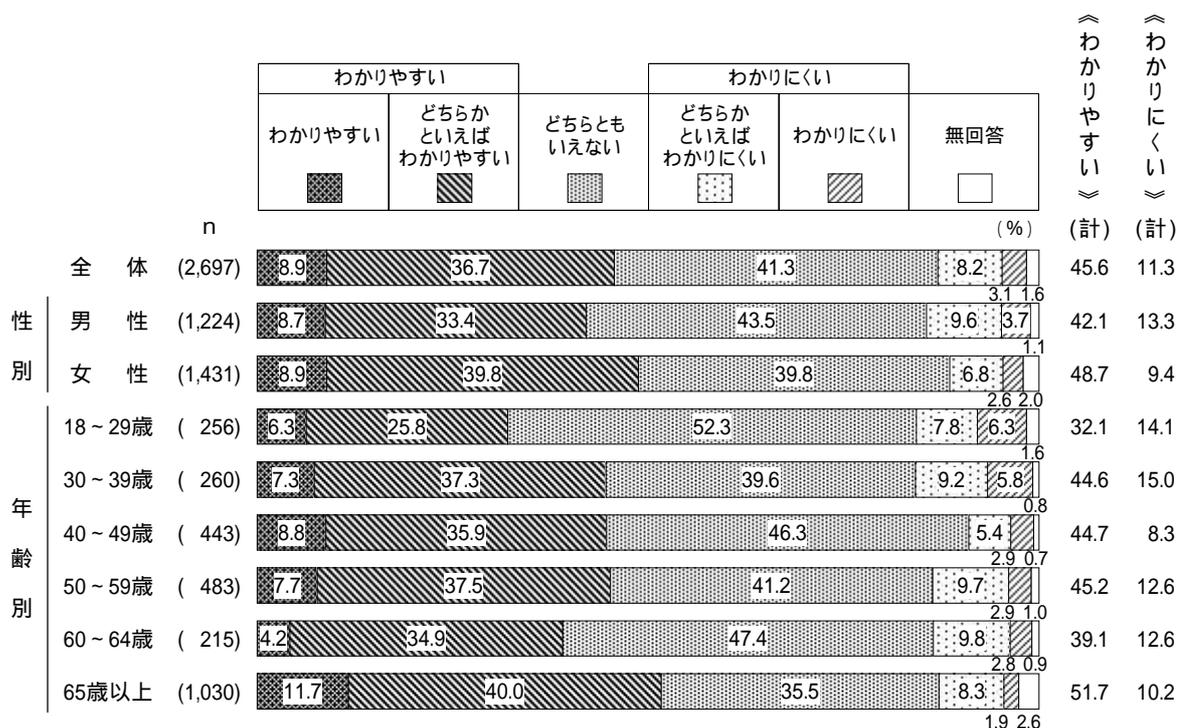


市政情報が適切にわかりやすく提供されていると思うか聞いたところ、「わかりやすい」(8.9%)と「どちらかといえばわかりやすい」(36.7%)を合わせた わかりやすい (45.6%)は4割台半ばとなっている。一方、「どちらかといえばわかりにくい」(8.2%)と「わかりにくい」(3.1%)を合わせた わかりにくい (11.3%)は1割強となっている。また、「どちらともいえない」(41.3%)は4割強となっている。

前回までの調査と比較すると、令和2年(2020年)と大きな傾向の違いはみられない。

(図2-2-1)

図2 - 2 - 2 市政情報のわかりやすさ - 性別、年齢別

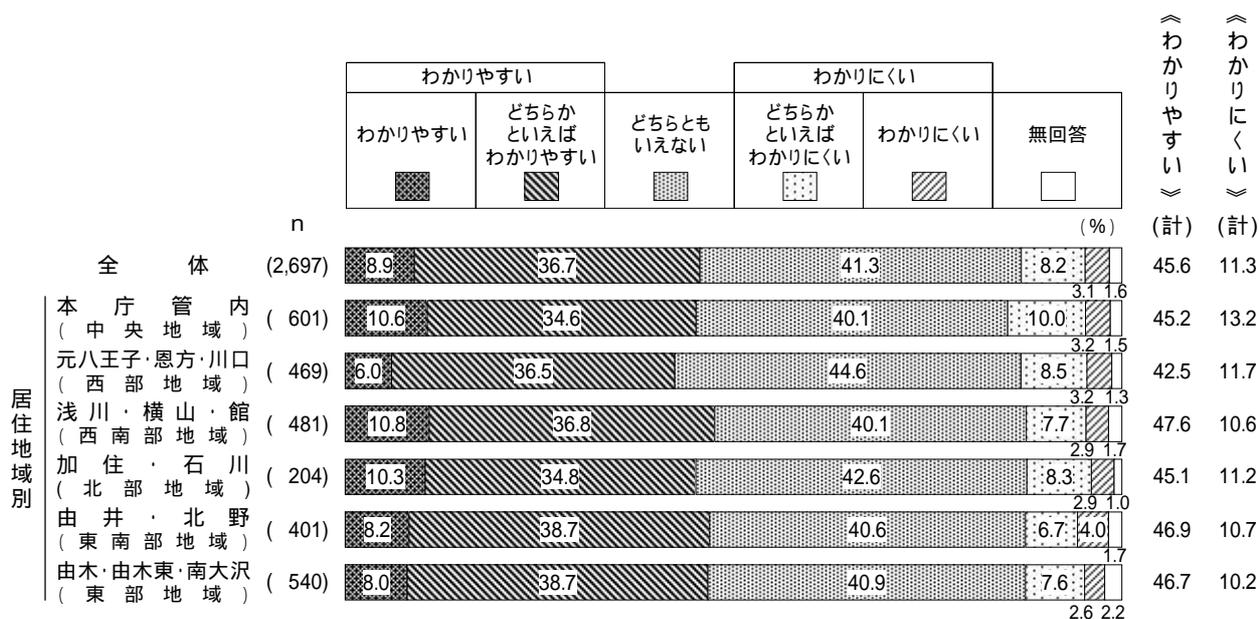


性別にみると、わかりやすいは女性（48.7%）が男性（42.1%）より6.6ポイント高くなっている。

年齢別にみると、わかりやすいは65歳以上（51.7%）で5割強と多くなっている。

（図2 - 2 - 2）

図2 - 2 - 3 市政情報のわかりやすさ - 居住地域別



居住地域別にみると、わかりやすいは全ての居住地域で4割台と多くなっている。

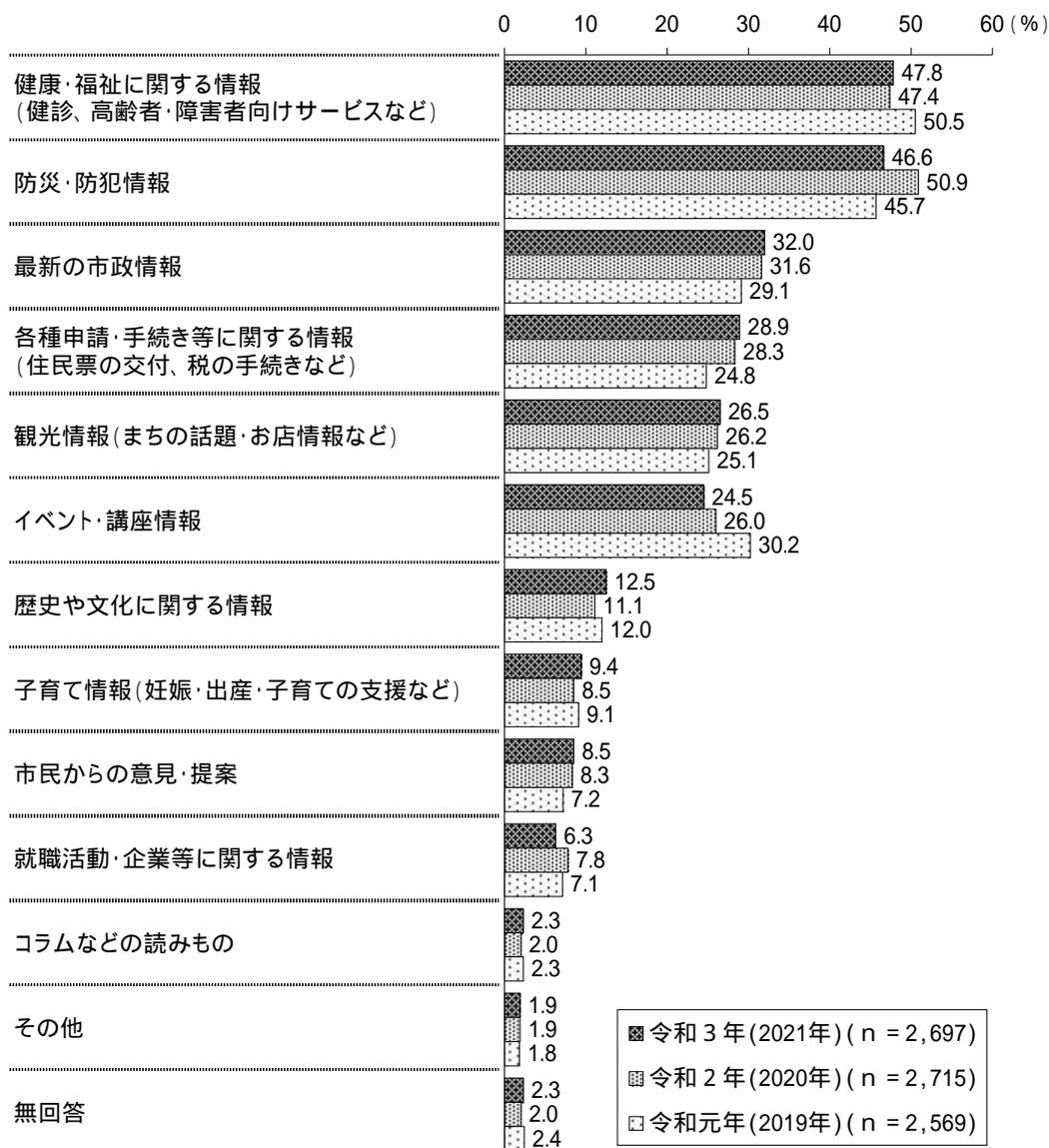
（図2 - 2 - 3）

### (3) 関心のある情報や発信してほしい情報

「健康・福祉に関する情報」と「防災・防犯情報」がともに5割近く

問11 あなたが関心のある情報、または発信してほしい情報を教えてください。( は3つまで)

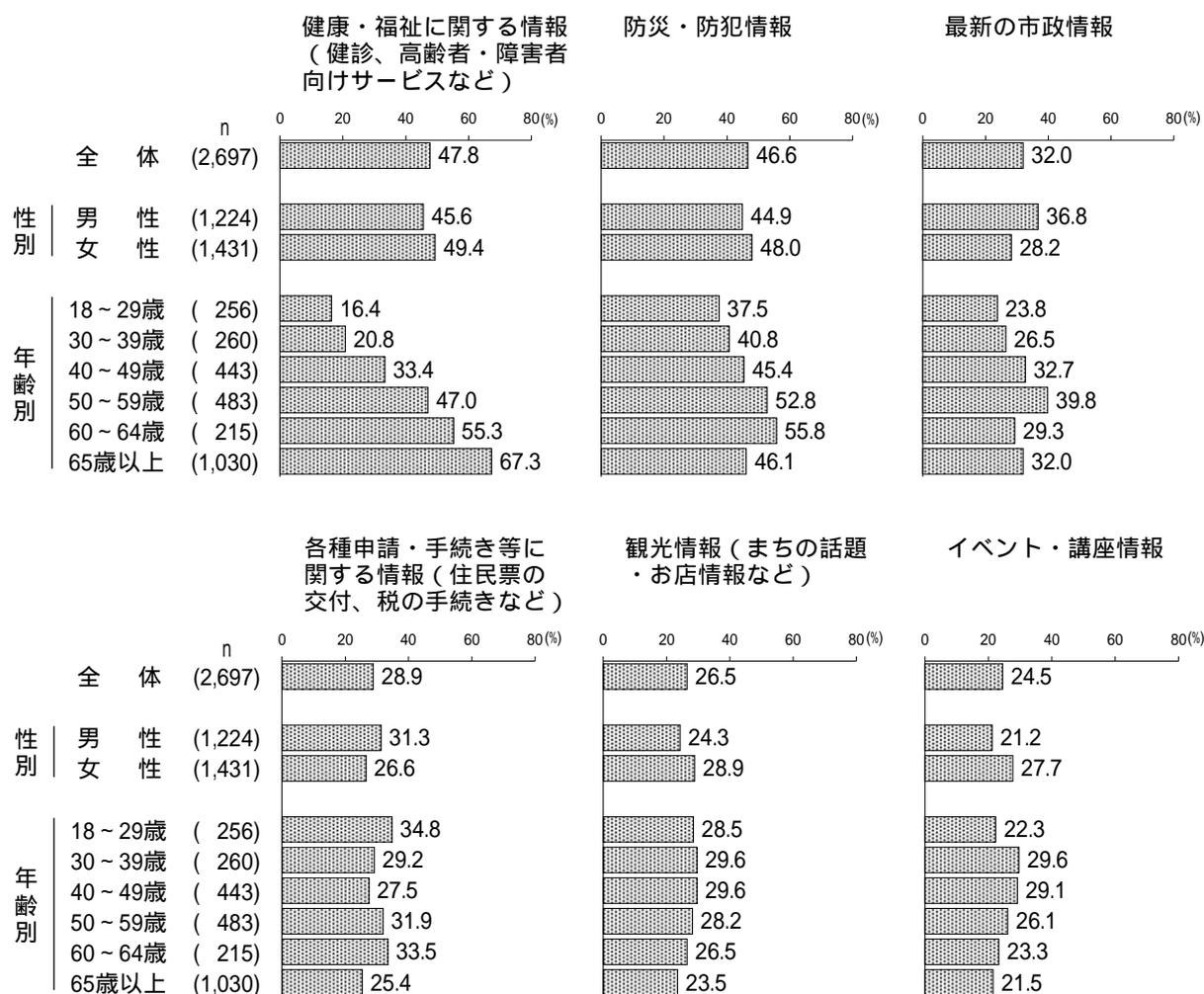
図2-3-1 関心のある情報や発信してほしい情報 - 全体、経年比較



関心のある情報、または発信してほしい情報を聞いたところ、「健康・福祉に関する情報(健診、高齢者・障害者向けサービスなど)」(47.8%)と「防災・防犯情報」(46.6%)がともに5割近くで多くなっている。次いで「最新の市政情報」(32.0%)、「各種申請・手続き等に関する情報(住民票の交付、税の手続きなど)」(28.9%)などの順となっている。

前回までの調査と比較すると、「防災・防犯情報」は令和2年(2020年)(50.9%)より4.3ポイント減少している。(図2-3-1)

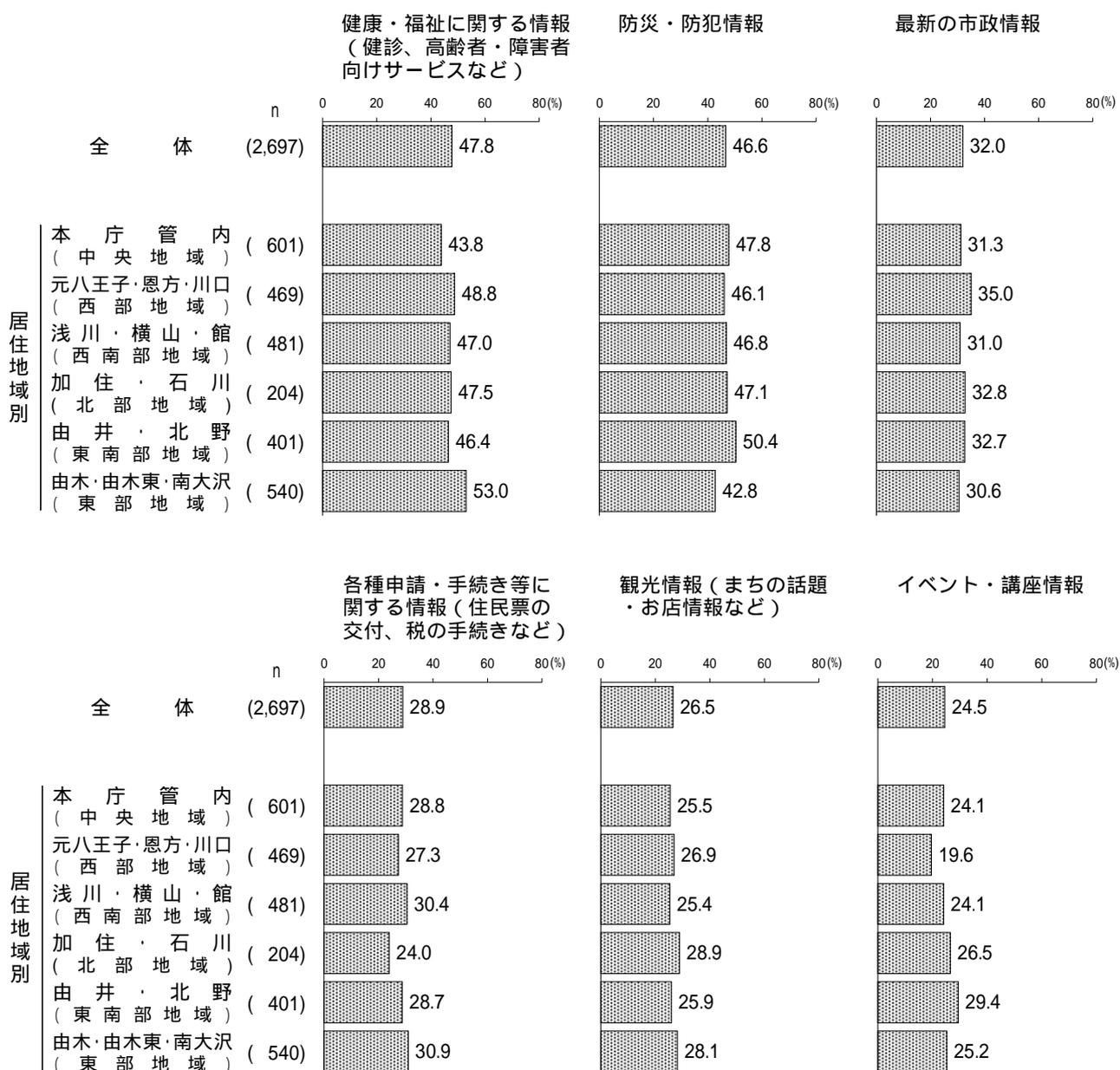
図2 - 3 - 2 関心のある情報や発信してほしい情報 - 性別、年齢別（上位6位）



性別にみると、「最新の市政情報」は男性（36.8%）が女性（28.2%）より8.6ポイント、「各種申請・手続き等に関する情報（住民票の交付、税の手続きなど）」は男性（31.3%）が女性（26.6%）より4.7ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「イベント・講座情報」は女性（27.7%）が男性（21.2%）より6.5ポイント、「観光情報（まちの話題・お店情報など）」は女性（28.9%）が男性（24.3%）より4.6ポイント、それぞれ高くなっている。

年齢別にみると、「健康・福祉に関する情報（健診、高齢者・障害者向けサービスなど）」は年代が高くなるほど割合が高く、65歳以上（67.3%）で7割近くと多くなっている。「防災・防犯情報」は60～64歳（55.8%）で5割台半ばと多くなっている。「最新の市政情報」は50～59歳（39.8%）で4割弱と多くなっている。（図2 - 3 - 2）

図2 - 3 - 3 関心のある情報や発信してほしい情報 - 居住地域別（上位6位）



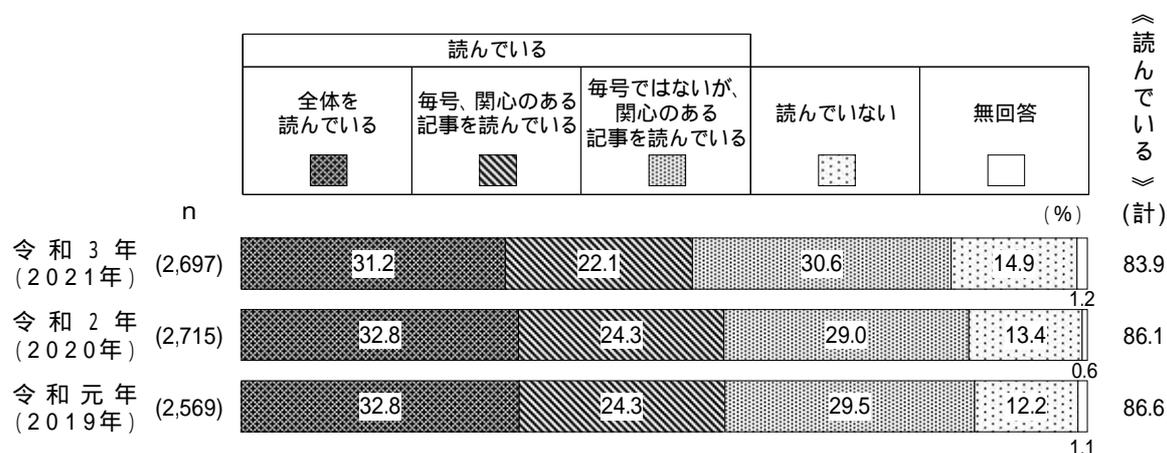
居住地域別にみると、「健康・福祉に関する情報（健診、高齢者・障害者向けサービスなど）」は由木・由木東・南大沢（東部地域）（53.0%）で5割強と多くなっている。「防災・防犯情報」は由井・北野（東南部地域）（50.4%）で約5割と多くなっている。「最新の市政情報」は元八王子・恩方・川口（西部地域）（35.0%）で3割台半ばと多くなっている。（図2 - 3 - 3）

## (4)「広報はちおうじ」の利用状況

読んでいる が8割強

問12 あなたは、「広報はちおうじ」を読んでいますか。( は1つだけ)

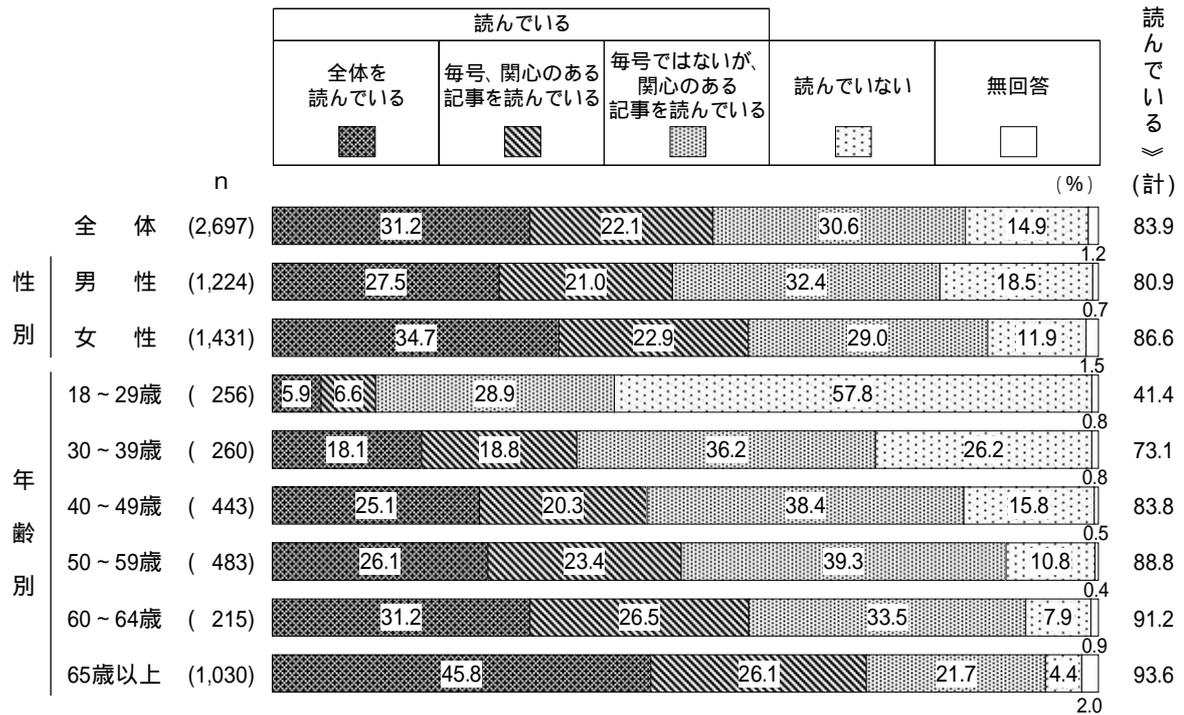
図2-4-1 「広報はちおうじ」の利用状況 - 全体、経年比較



「広報はちおうじ」を読んでいるか聞いたところ、「全体を読んでいる」(31.2%)、「毎号、関心のある記事を読んでいる」(22.1%)、「毎号ではないが、関心のある記事を読んでいる」(30.6%)の3つを合わせた 読んでいる (83.9%)は8割強となっている。一方、「読んでいない」(14.9%)は1割台半ばとなっている。

前回までの調査と比較すると、 読んでいる は令和2年(2020年)(86.1%)より2.2ポイント減少している。(図2-4-1)

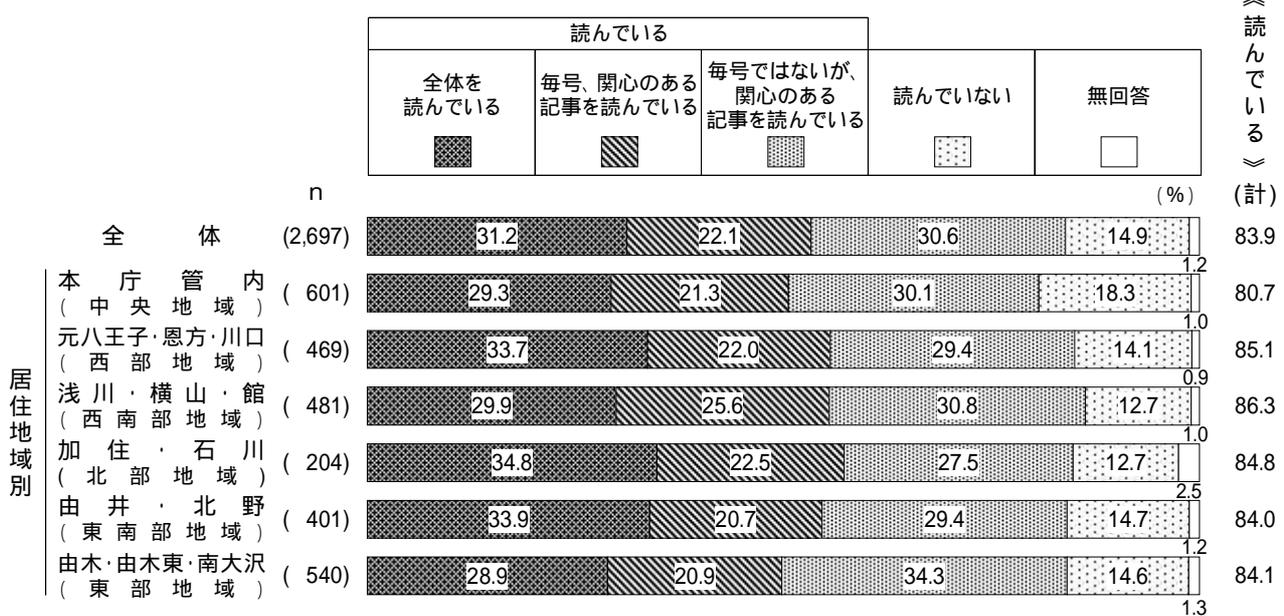
図2 - 4 - 2 「広報はちおうじ」の利用状況 - 性別、年齢別



性別にみると、読んでいるは女性（86.6%）が男性（80.9%）より5.7ポイント高くなっている。

年齢別にみると、読んでいるは年代が高くなるほど割合が高く、60～64歳（91.2%）と65歳以上（93.6%）で9割強と多くなっている。（図2 - 4 - 2）

図2 - 4 - 3 「広報はちおうじ」の利用状況 - 居住地域別



居住地域別にみると、読んでいるは全ての居住地域で8割台と多くなっている。

（図2 - 4 - 3）

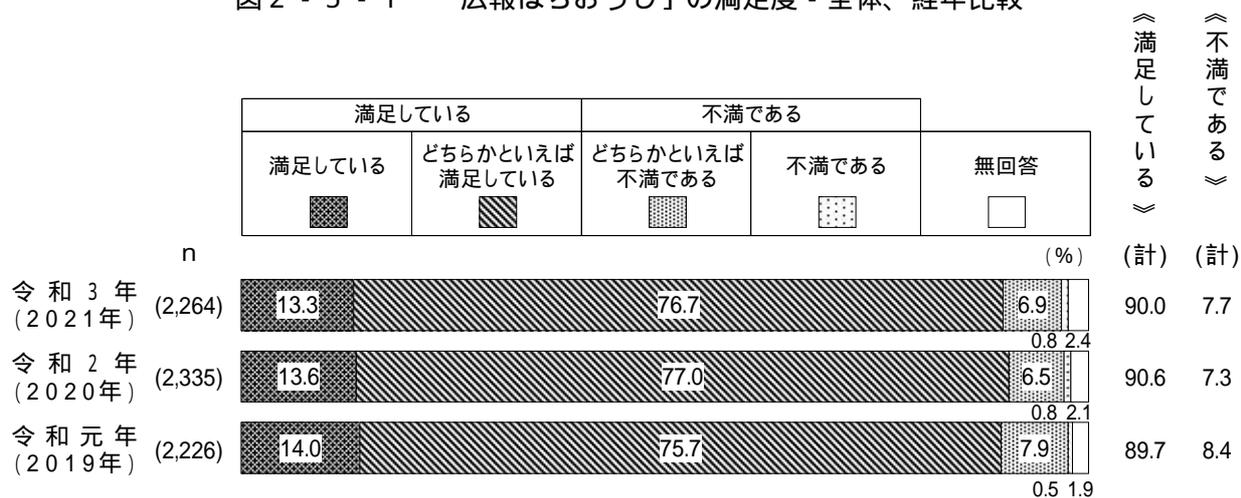
## (5)「広報はちおうじ」の満足度

満足している が9割

(問12で「全体を読んでいる」「毎号、関心のある記事を読んでいる」「毎号ではないが、関心のある記事を読んでいる」とお答えの方へ)

問12-1「広報はちおうじ」について、感想をお選びください。( は1つだけ)

図2-5-1 「広報はちおうじ」の満足度 - 全体、経年比較

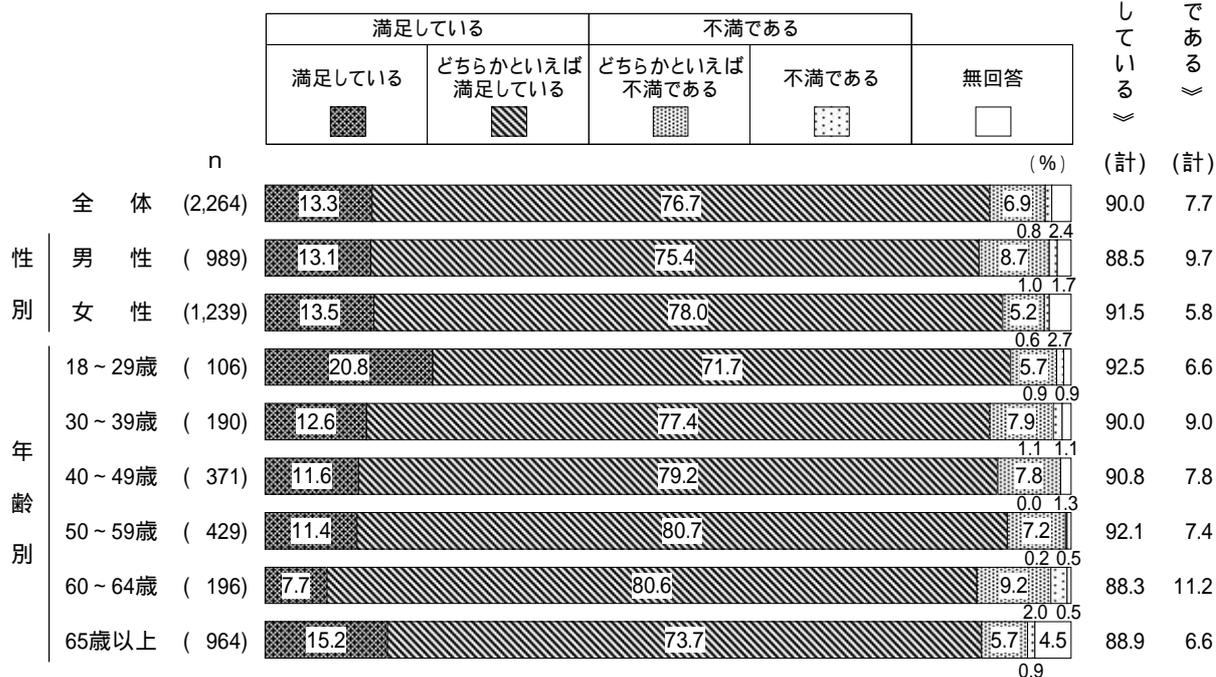


「広報はちおうじ」の利用状況で、「全体を読んでいる」「毎号、関心のある記事を読んでいる」「毎号ではないが、関心のある記事を読んでいる」と回答した2,264人に、その感想を聞いたところ、「満足している」(13.3%)と「どちらかといえば満足している」(76.7%)を合わせた 満足している (90.0%)は9割となっている。一方、「どちらかといえば不満である」(6.9%)と「不満である」(0.8%)を合わせた 不満である (7.7%)は1割未満となっている。

前回までの調査と比較すると、令和2年(2020年)と大きな傾向の違いはみられない。

(図2-5-1)

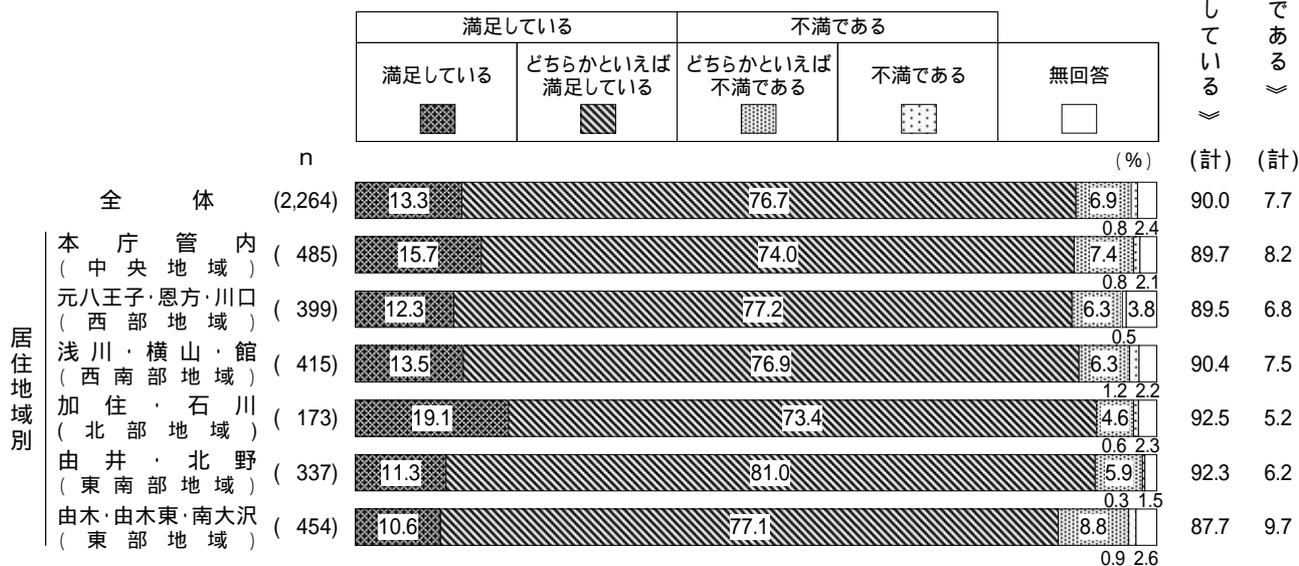
図2 - 5 - 2 「広報はちおうじ」の満足度 - 性別、年齢別



性別にみると、満足しているは女性(91.5%)が男性(88.5%)より3.0ポイント高くなっている。

年齢別にみると、満足しているは18～29歳(92.5%)と50～59歳(92.1%)で9割強と多くなっている。一方、不満であるは60～64歳(11.2%)で1割強となっている。(図2 - 5 - 2)

図2 - 5 - 3 「広報はちおうじ」の満足度 - 居住地域別



居住地域別にみると、満足しているは加住・石川(北部地域)(92.5%)と由井・北野(東南部地域)(92.3%)で9割強と多くなっている。(図2 - 5 - 3)

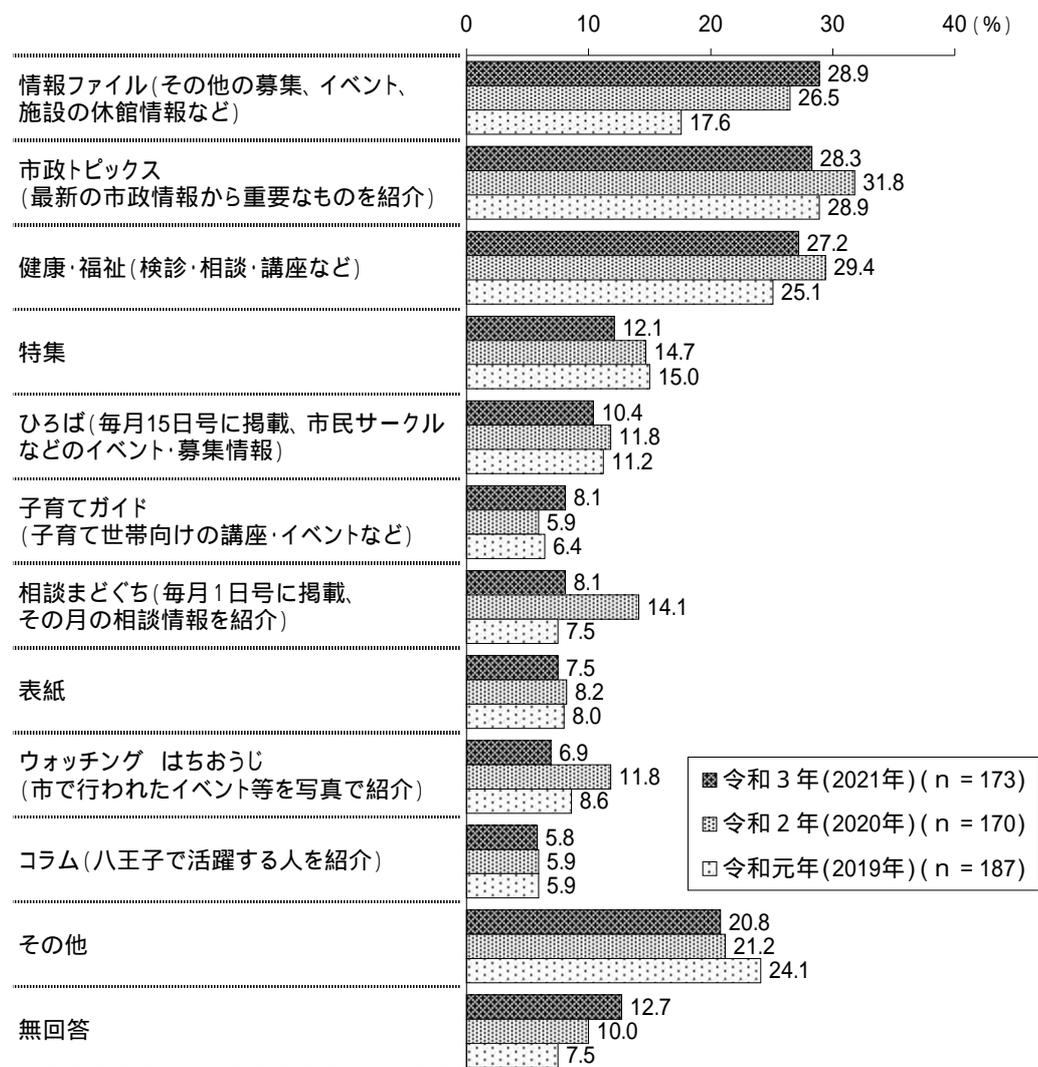
## (6)「広報はちおうじ」で不満を感じるコーナー

「情報ファイル」、「市政トピックス」、「健康・福祉」がいずれも3割近く

(問12-1で「どちらかといえば不満である」または「不満である」とお答えの方へ)

問12-1-1 不満であると特に感じるコーナーを教えてください。( は3つまで)

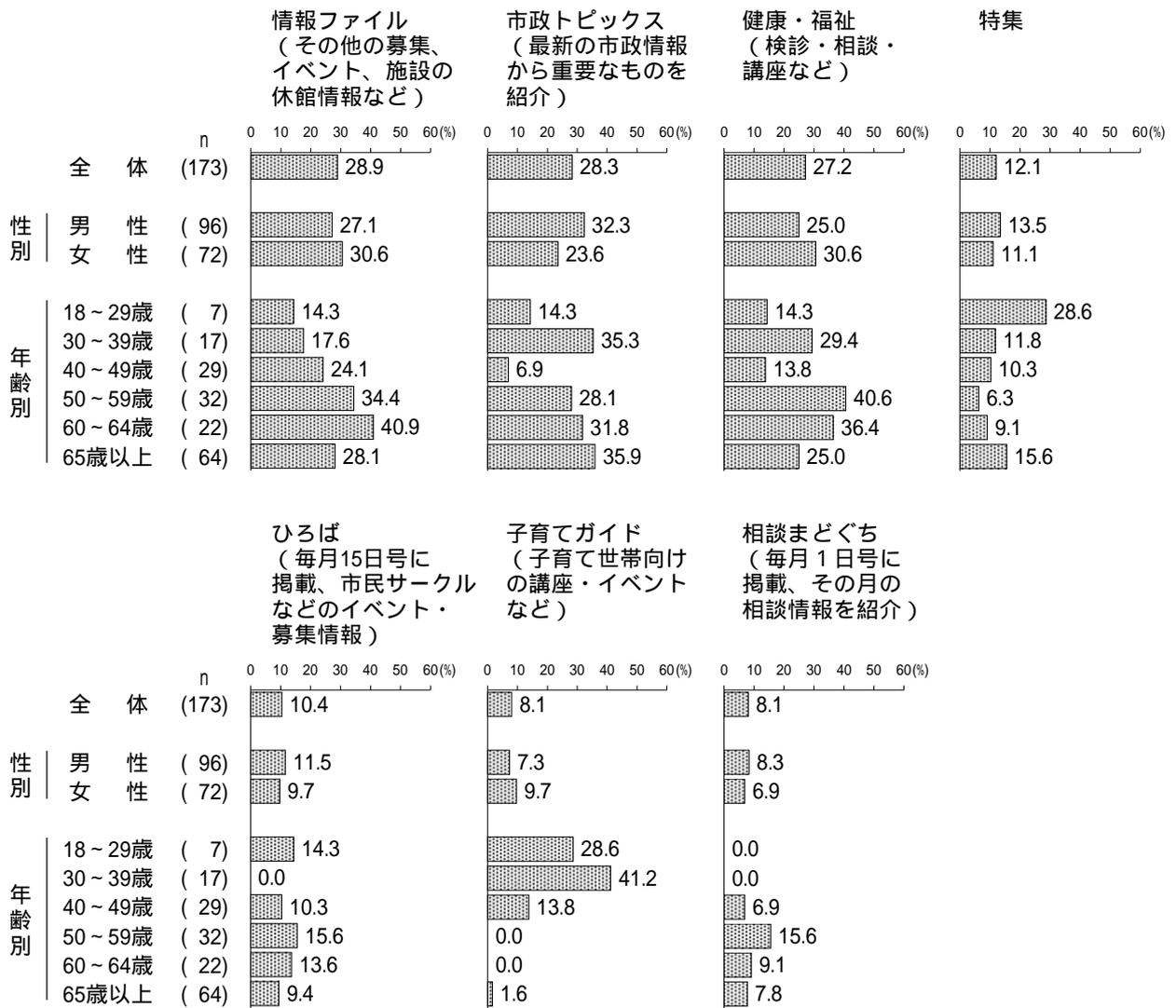
図2-6-1 「広報はちおうじ」で不満を感じるコーナー - 全体、経年比較



「広報はちおうじ」についての感想で、「どちらかといえば不満である」または「不満である」と回答した173人に、特に不満を感じるコーナーを聞いたところ、「情報ファイル(その他の募集、イベント、施設の休館情報など)」(28.9%)、「市政トピックス(最新の市政情報から重要なものを紹介)」(28.3%)、「健康・福祉(検診・相談・講座など)」(27.2%)がいずれも3割近くで多くなっている。次いで「特集」(12.1%)などの順となっている。

前回までの調査と比較すると、「相談まどぐち(毎月1日号に掲載、その月の相談情報を紹介)」は令和2年(2020年)(14.1%)より6.0ポイント、「ウォッチング はちおうじ(市で行われたイベント等を写真で紹介)」は令和2年(2020年)(11.8%)より4.9ポイント、それぞれ減少している。(図2-6-1)

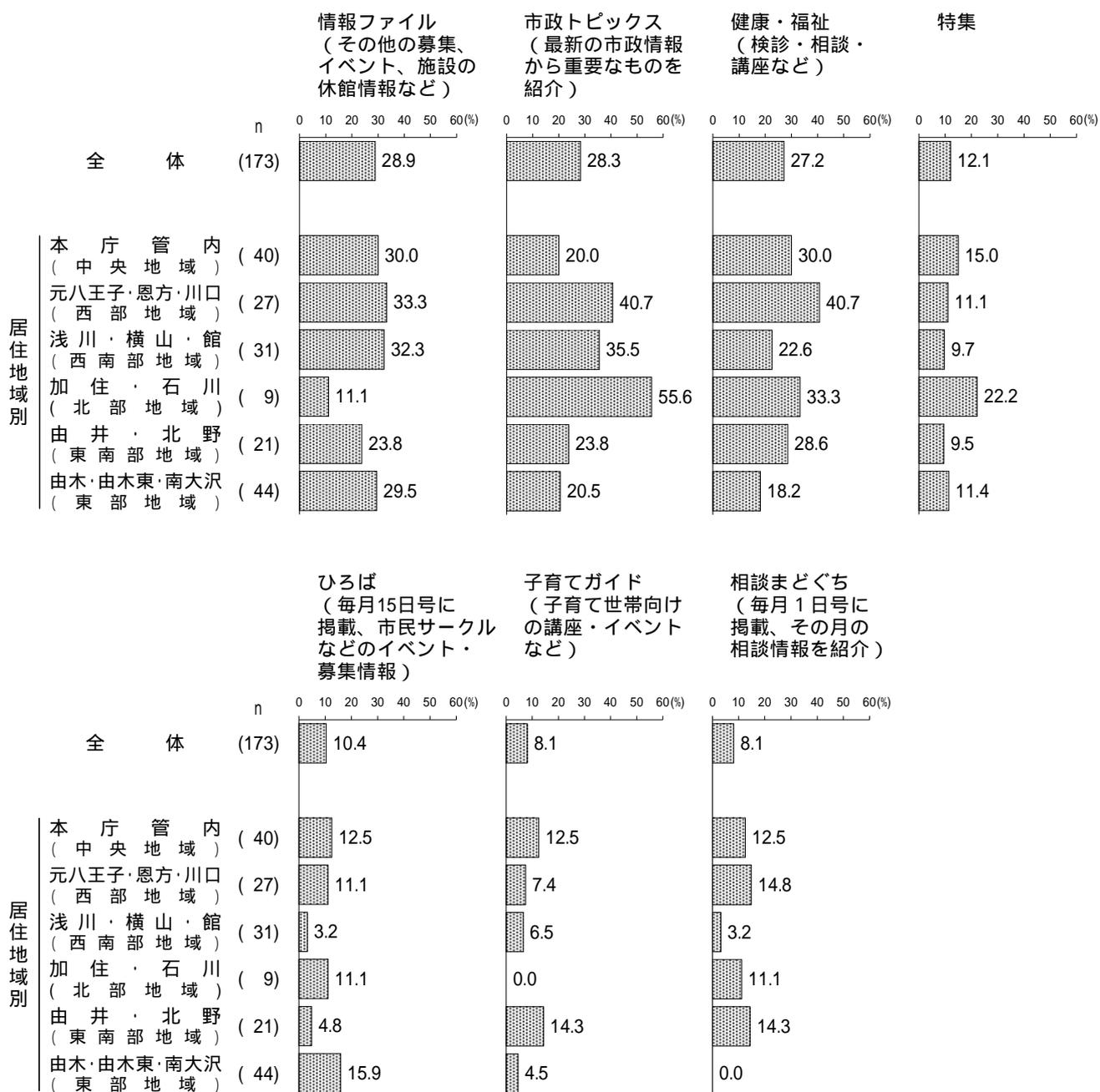
図2 - 6 - 2 「広報はちおうじ」で不満を感じるコーナー - 性別、年齢別（上位6位）



性別にみると、「市政トピックス（最新の市政情報から重要なものを紹介）」は男性（32.3%）が女性（23.6%）より8.7ポイント高くなっている。一方、「健康・福祉（検診・相談・講座など）」は女性（30.6%）が男性（25.0%）より5.6ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「市政トピックス（最新の市政情報から重要なものを紹介）」は65歳以上（35.9%）で3割台半ばと多くなっている。「健康・福祉（検診・相談・講座など）」は50~59歳（40.6%）で約4割と多くなっている。（図2 - 6 - 2）

図2-6-3 「広報はちおうじ」で不満を感じるコーナー - 居住地域別 (上位6位)



居住地域別にみると、「市政トピックス(最新の市政情報から重要なものを紹介)」は浅川・横山・館(西南部地域)(35.5%)で3割台半ばと多くなっている。「健康・福祉(検診・相談・講座など)」は本庁管内(中央地域)(30.0%)で3割と多くなっている。(図2-6-3)

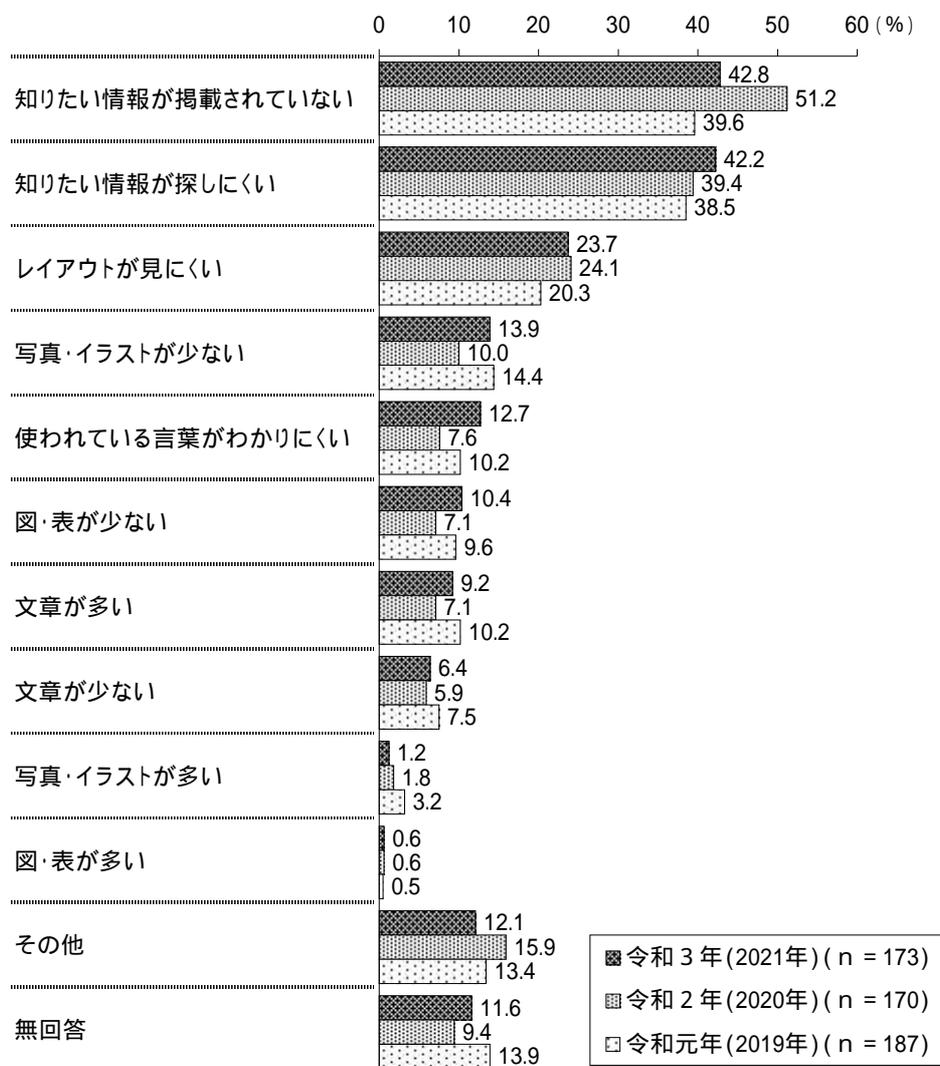
## (7)「広報はちおうじ」に不満を感じる理由

「知りたい情報が掲載されていない」と「知りたい情報が探しにくい」がともに4割強

(問12-1で「どちらかといえば不満である」または「不満である」とお答えの方へ)

問12-1-2 不満であると感じる理由を教えてください。(はいくつでも)

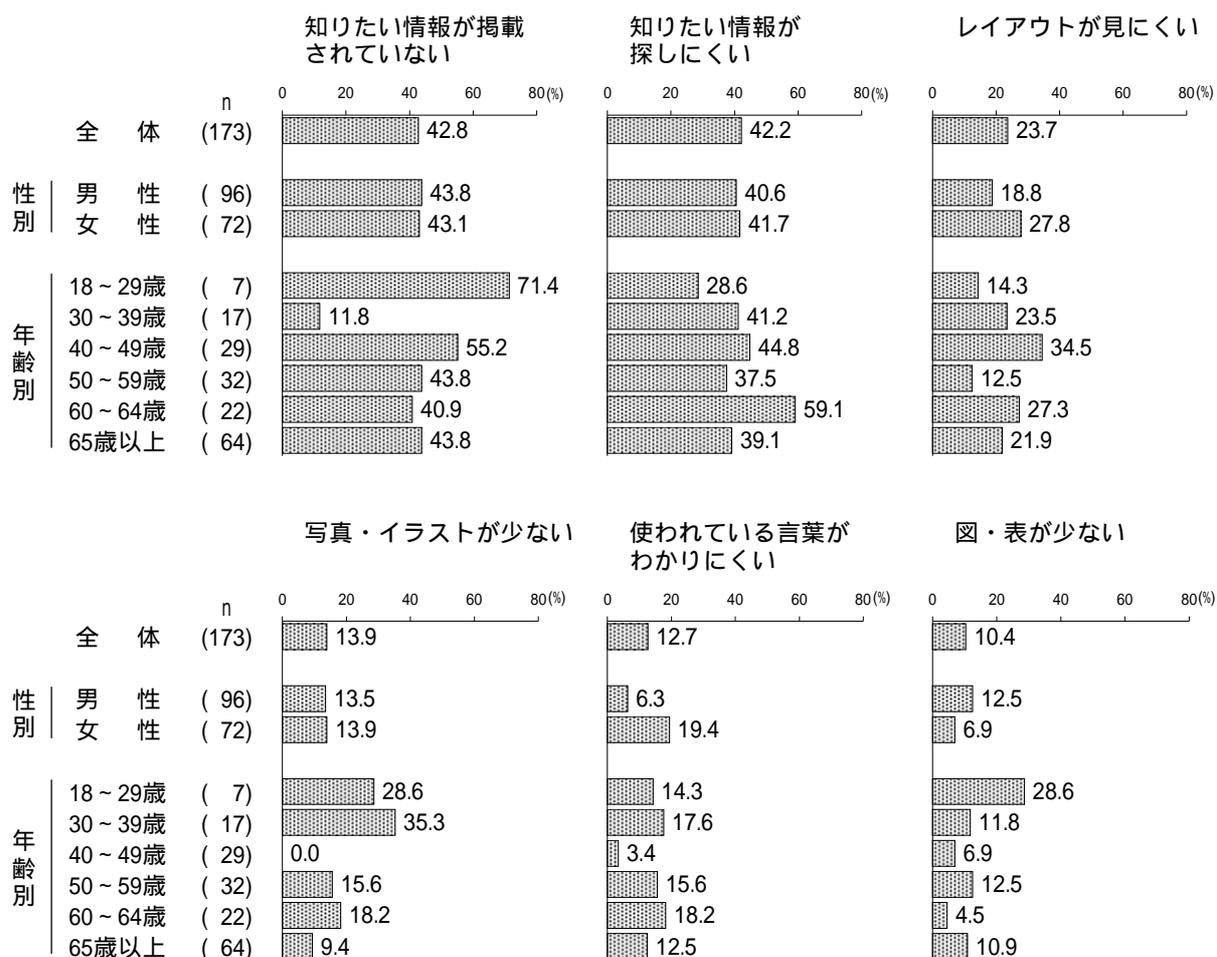
図2-7-1 「広報はちおうじ」に不満を感じる理由 - 全体、経年比較



「広報はちおうじ」についての感想で、「どちらかといえば不満である」または「不満である」と回答した173人に、不満であると感じる理由を聞いたところ、「知りたい情報が掲載されていない」(42.8%)と「知りたい情報が探しにくい」(42.2%)がともに4割強で多くなっている。次いで「レイアウトが見にくい」(23.7%)、「写真・イラストが少ない」(13.9%)などの順となっている。

前回までの調査と比較すると、「使われている言葉がわかりにくい」は令和2年(2020年)の7.6%より5.1ポイント増加している。一方、「知りたい情報が掲載されていない」は令和2年(2020年)の51.2%より8.4ポイント減少している。(図2-7-1)

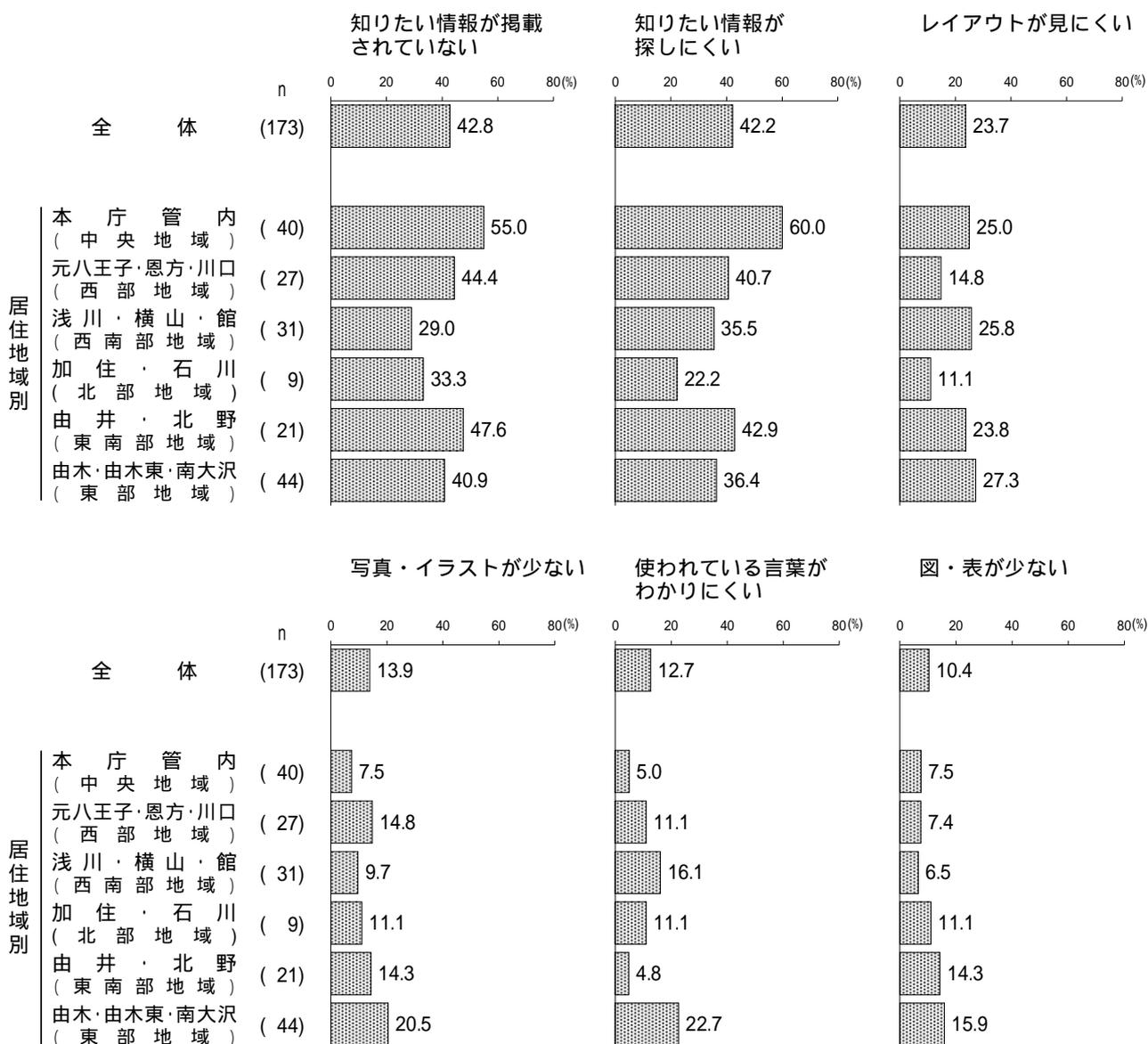
図2 - 7 - 2 「広報はちおうじ」に不満を感じる理由 - 性別、年齢別（上位6位）



性別にみると、「使われている言葉がわかりにくい」は女性（19.4%）が男性（6.3%）より13.1ポイント、「レイアウトが見にくい」は女性（27.8%）が男性（18.8%）より9.0ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「図・表が少ない」は男性（12.5%）が女性（6.9%）より5.6ポイント高くなっている。

年齢別は基数が少ないため参考に図示する。（図2 - 7 - 2）

図2 - 7 - 3 「広報はちおうじ」に不満を感じる理由 - 居住地域別 (上位6位)



居住地域別にみると、「知りたい情報が掲載されていない」は本庁管内(中央地域)(55.0%)で5割台半ばと多くなっている。「知りたい情報が探しにくい」は本庁管内(中央地域)(60.0%)で6割と多くなっている。(図2 - 7 - 3)

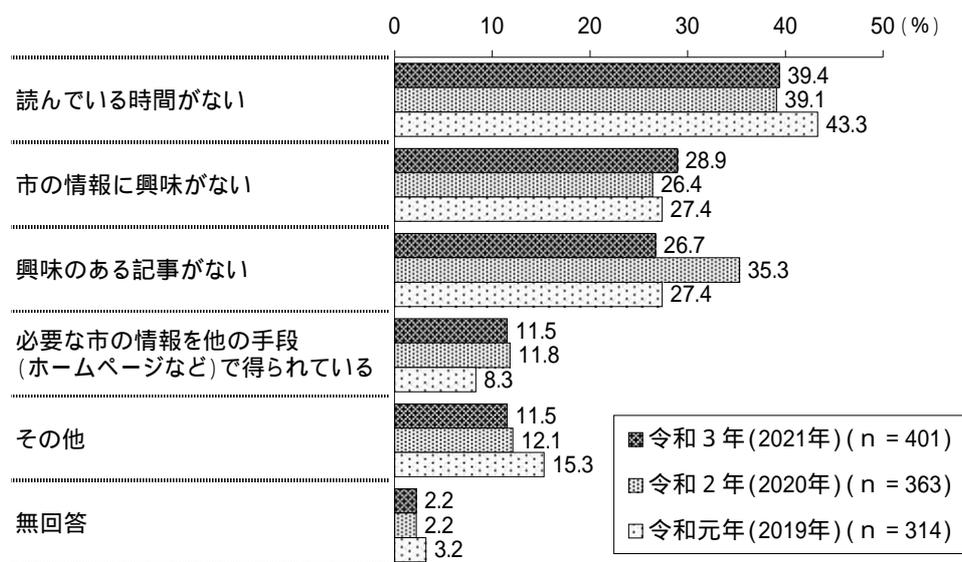
## ( 8 ) 「広報はちおうじ」を読んでいない理由

「読んでいる時間がない」が4割弱

(問12で「読んでいない」とお答えの方へ)

問12 - 2 「広報はちおうじ」を読んでいない理由は何ですか。( はいくつでも )

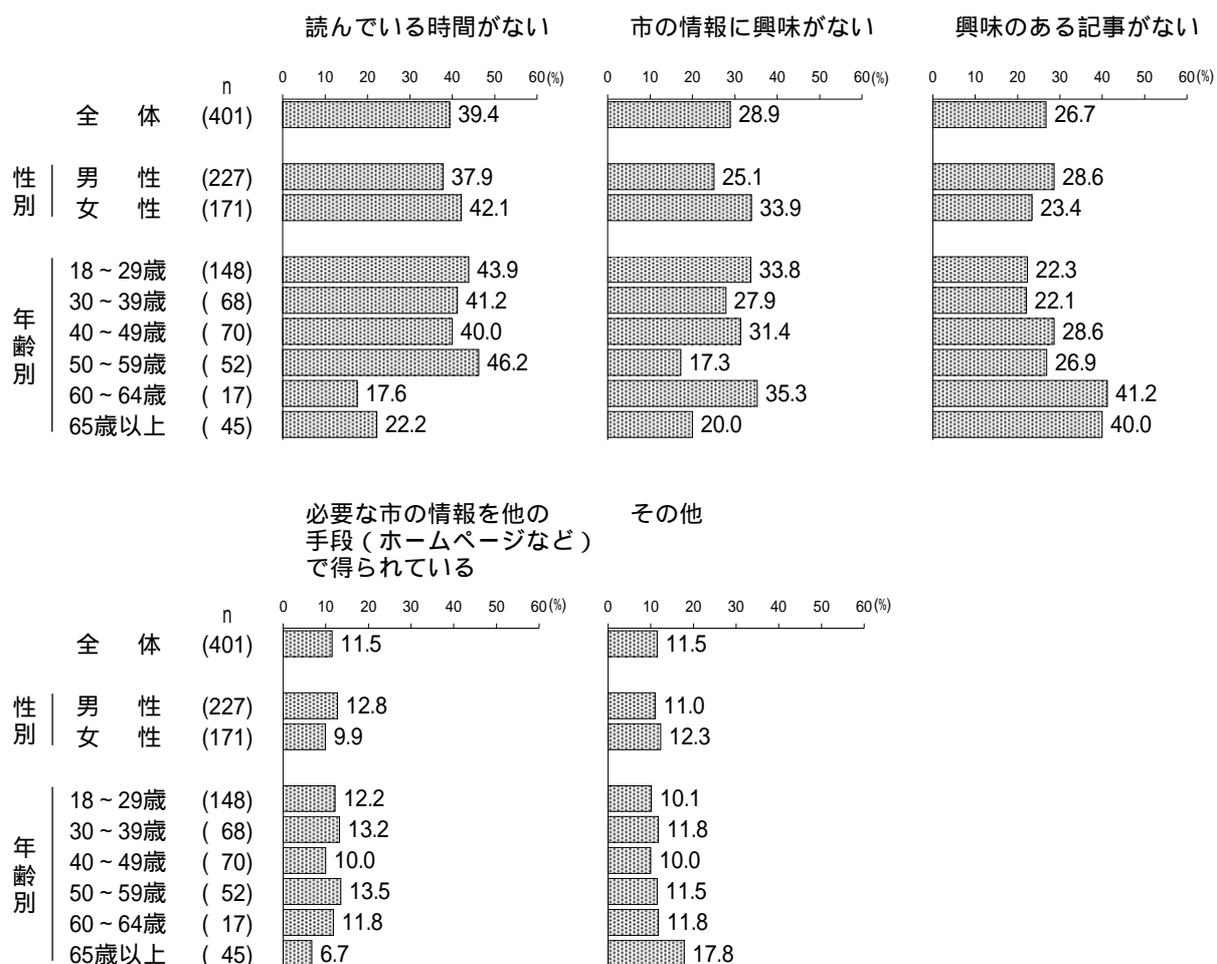
図2 - 8 - 1 「広報はちおうじ」を読んでいない理由 - 全体、経年比較



「広報はちおうじ」を「読んでいない」と回答した401人に、読んでいない理由を聞いたところ、「読んでいる時間がない」(39.4%)が4割弱で最も多くなっている。次いで「市の情報に興味がない」(28.9%)、「興味のある記事がない」(26.7%)、「必要な市の情報を他の手段(ホームページなど)で得られている」(11.5%)の順となっている。

前回までの調査と比較すると、「市の情報に興味がない」は令和2年(2020年)(26.4%)より2.5ポイント増加している。一方、「興味のある記事がない」は令和2年(2020年)(35.3%)より8.6ポイント減少している。(図2 - 8 - 1)

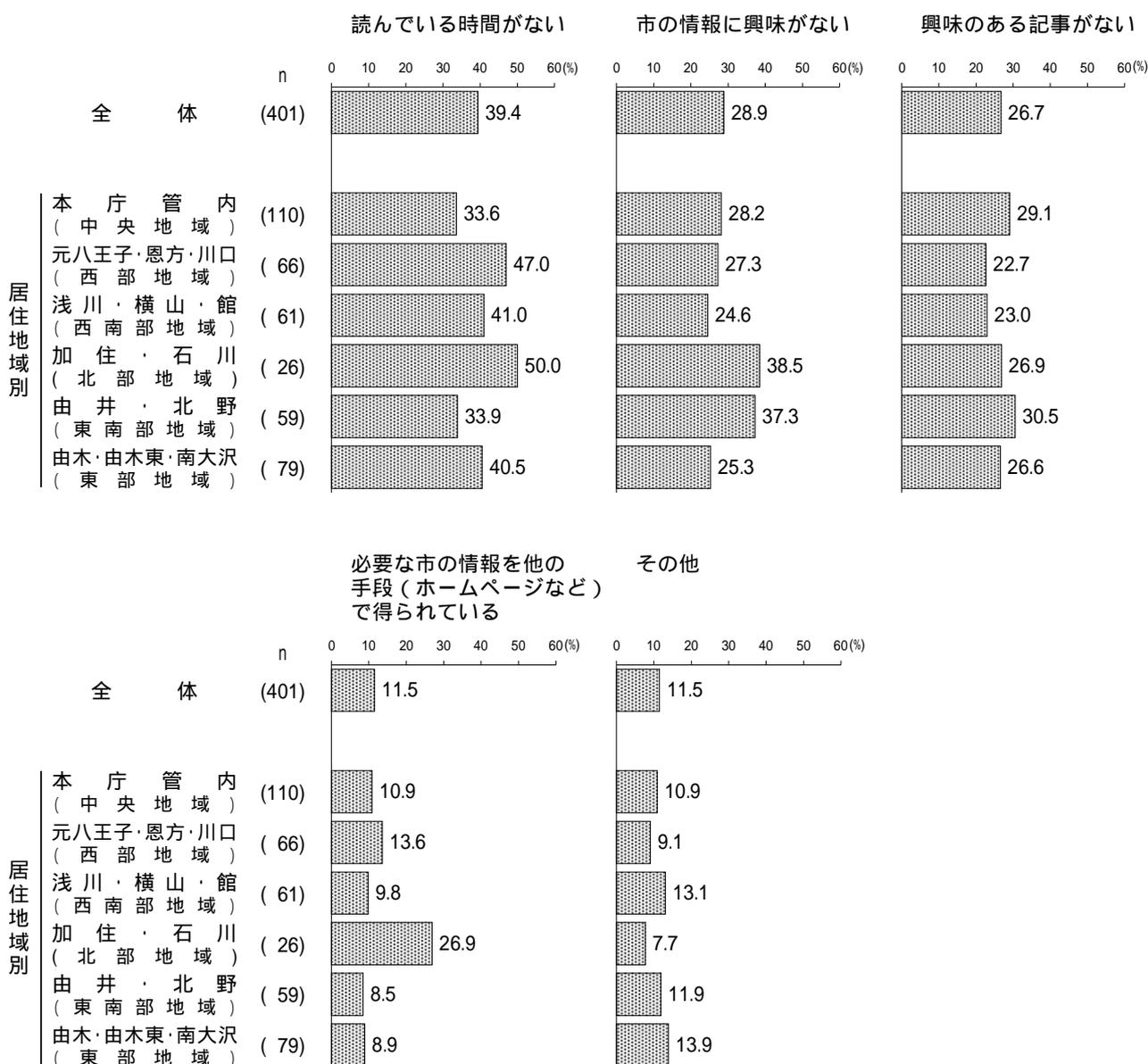
図2 - 8 - 2 「広報はちおうじ」を読んでいない理由 - 性別、年齢別



性別にみると、「市の情報に興味がない」は女性（33.9%）が男性（25.1%）より8.8ポイント、「読んでいる時間がない」は女性（42.1%）が男性（37.9%）より4.2ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「興味のある記事がない」は男性（28.6%）が女性（23.4%）より5.2ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「読んでいる時間がない」は50~59歳（46.2%）で5割近くと多くなっている。「興味のある記事がない」は65歳以上（40.0%）で4割と多くなっている。（図2 - 8 - 2）

図2 - 8 - 3 「広報はちおうじ」を読んでいない理由 - 居住地域別



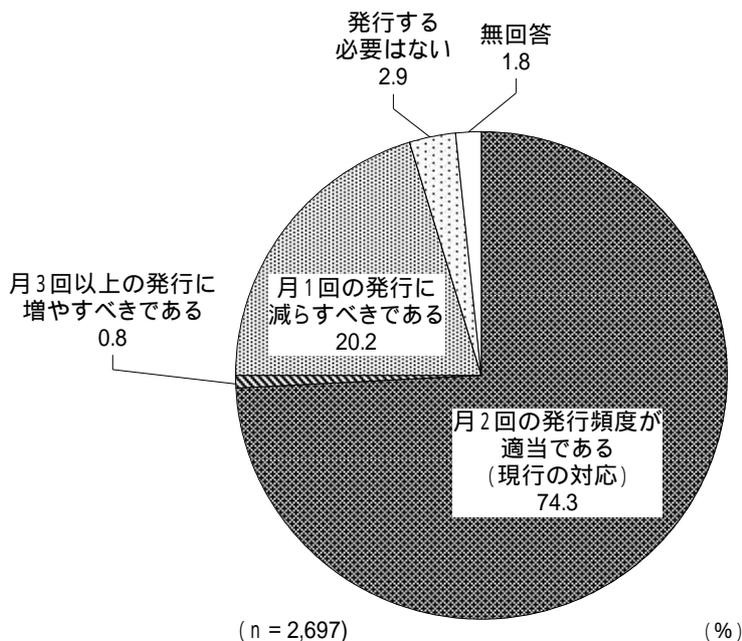
居住地域別にみると、「読んでいる時間がない」は元八王子・恩方・川口(西部地域)(47.0%)で5割近くと多くなっている。「市の情報に興味がない」は由井・北野(東南部地域)(37.3%)で4割近くと多くなっている。「興味のある記事がない」は由井・北野(東南部地域)(30.5%)で約3割と多くなっている。(図2 - 8 - 3)

## (9)「広報はちおうじ」の発行頻度

「月2回の発行頻度が適当である(現行の対応)」が7割台半ば

問13 現在、「広報はちおうじ」を月2回発行していますが、その頻度についてどのようにお考えですか。( は1つだけ)

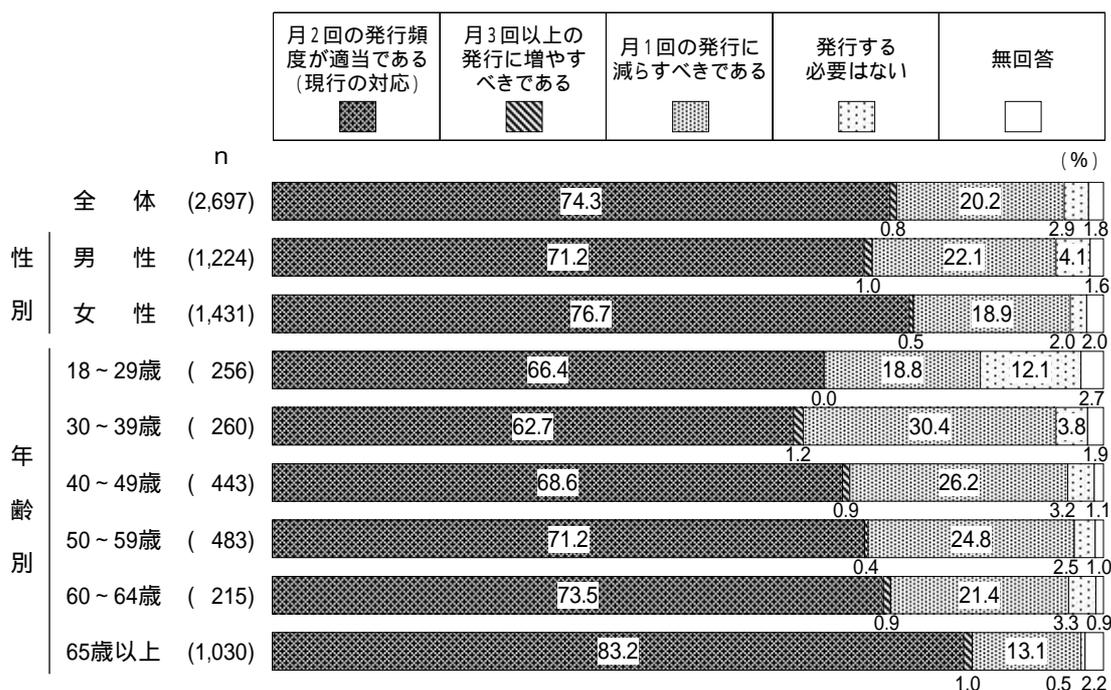
図2 - 9 - 1 「広報はちおうじ」の発行頻度 - 全体



(注) 新規の設問のため、経年比較はない。

「広報はちおうじ」の発行頻度について聞いたところ、「月2回の発行頻度が適当である(現行の対応)」(74.3%)が7割台半ばで最も多くなっている。次いで「月1回の発行に減らすべきである」(20.2%)、「発行する必要はない」(2.9%)、「月3回以上の発行に増やすべきである」(0.8%)の順となっている。(図2 - 9 - 1)

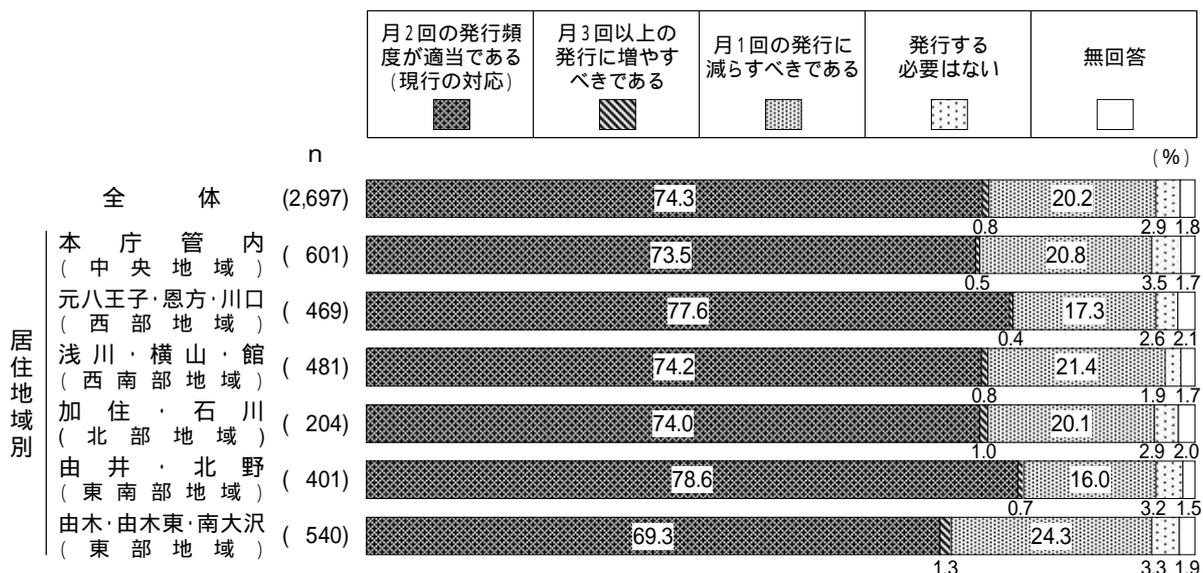
図2 - 9 - 2 「広報はちおうじ」の発行頻度 - 性別、年齢別



性別にみると、「月2回の発行頻度が適当である(現行の対応)」は女性(76.7%)が男性(71.2%)より5.5ポイント高くなっている。一方、「月1回の発行に減らすべきである」は男性(22.1%)が女性(18.9%)より3.2ポイント高くなっている。

年齢別にみると「月2回の発行頻度が適当である(現行の対応)」は65歳以上(83.2%)で8割強と多くなっている。「月1回の発行に減らすべきである」は30～39歳(30.4%)で約3割と多くなっている。(図2 - 9 - 2)

図2 - 9 - 3 「広報はちおうじ」の発行頻度 - 居住地域別



居住地域別にみると、「月2回の発行頻度が適当である(現行の対応)」は由井・北野(東南部地域)(78.6%)と元八王子・恩方・川口(西部地域)(77.6%)で8割近くと多くなっている。

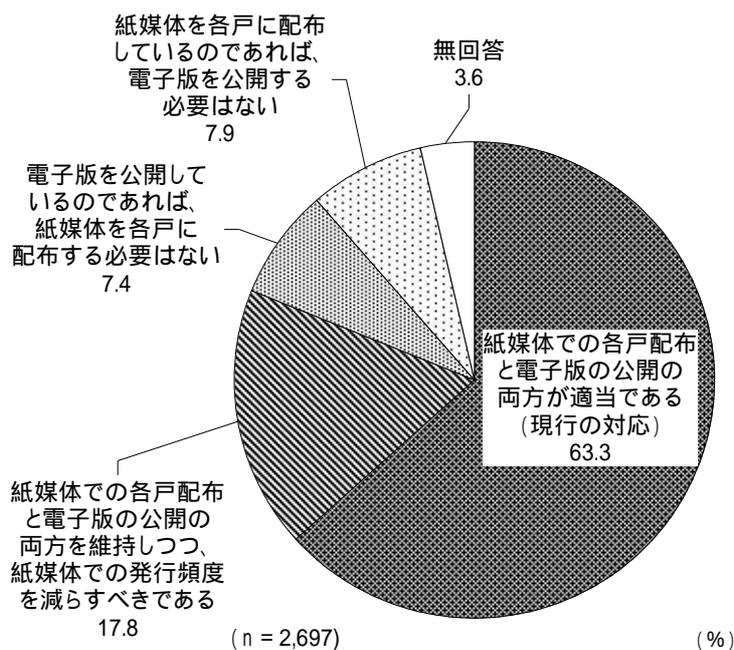
(図2 - 9 - 3)

## (10)「広報はちおうじ」の電子化

「紙媒体での各戸配布と電子版の公開の両方が適当である（現行の対応）」が6割強

問14 現在、「広報はちおうじ」を紙媒体で発行して各戸にお届けするとともに、ホームページやスマートフォンアプリを活用して電子版を公開しています。広報紙の電子化についてどのようにお考えですか。（ は1つだけ）

図2 - 10 - 1 「広報はちおうじ」の電子化 - 全体

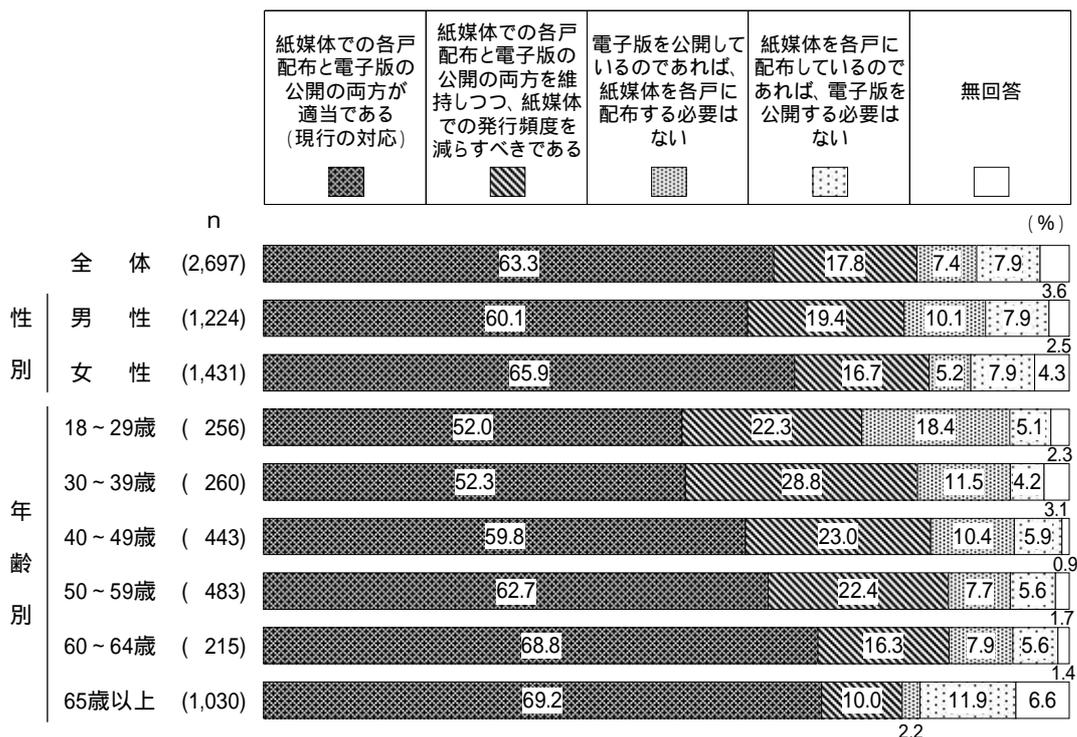


（注）新規の設問のため、経年比較はない。

「広報はちおうじ」の電子化について聞いたところ、「紙媒体での各戸配布と電子版の公開の両方が適当である（現行の対応）」（63.3%）が6割強で最も多くなっている。次いで「紙媒体での各戸配布と電子版の公開の両方を維持しつつ、紙媒体での発行頻度を減らすべきである」（17.8%）、「紙媒体を各戸に配布しているのであれば、電子版を公開する必要はない」（7.9%）、「電子版を公開しているのであれば、紙媒体を各戸に配布する必要はない」（7.4%）の順となっている。

（図2 - 10 - 1）

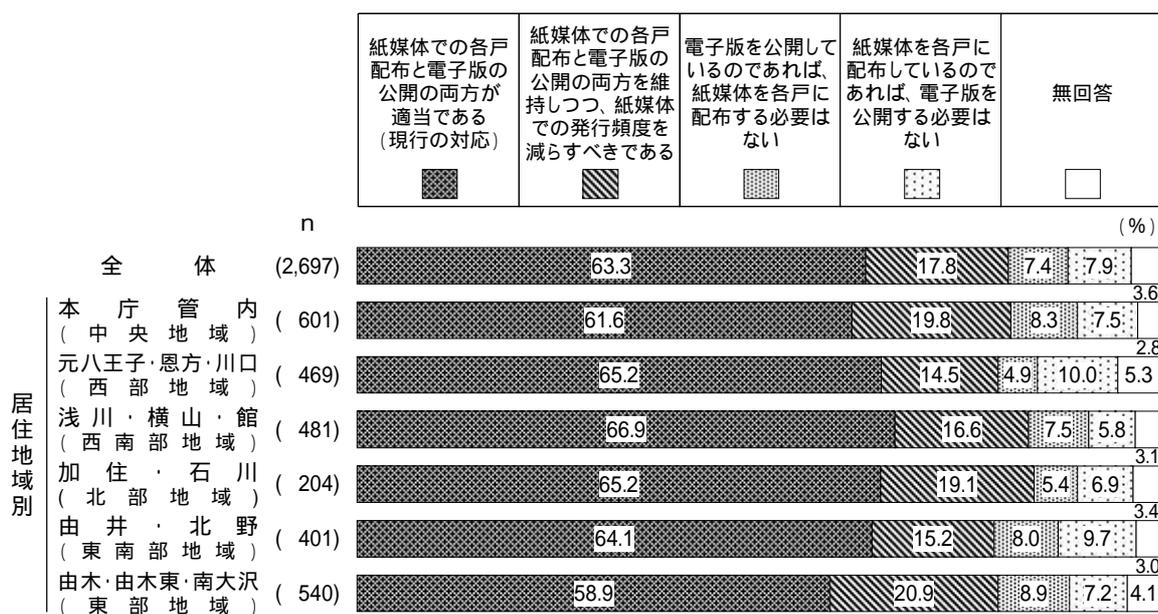
図2 - 10 - 2 「広報はちおうじ」の電子化 - 性別、年齢別



性別にみると、「紙媒体での各戸配布と電子版の公開の両方が適当である（現行の対応）」は女性（65.9%）が男性（60.1%）より5.8ポイント高くなっている。一方、「電子版を公開しているのであれば、紙媒体を各戸に配布する必要はない」は男性（10.1%）が女性（5.2%）より4.9ポイント高くなっている。

年齢別にみると「紙媒体での各戸配布と電子版の公開の両方が適当である（現行の対応）」は年代が高くなるほど割合が高く、65歳以上（69.2%）で7割弱と多くなっている。（図2 - 10 - 2）

図2 - 10 - 3 「広報はちおうじ」の電子化 - 居住地域別



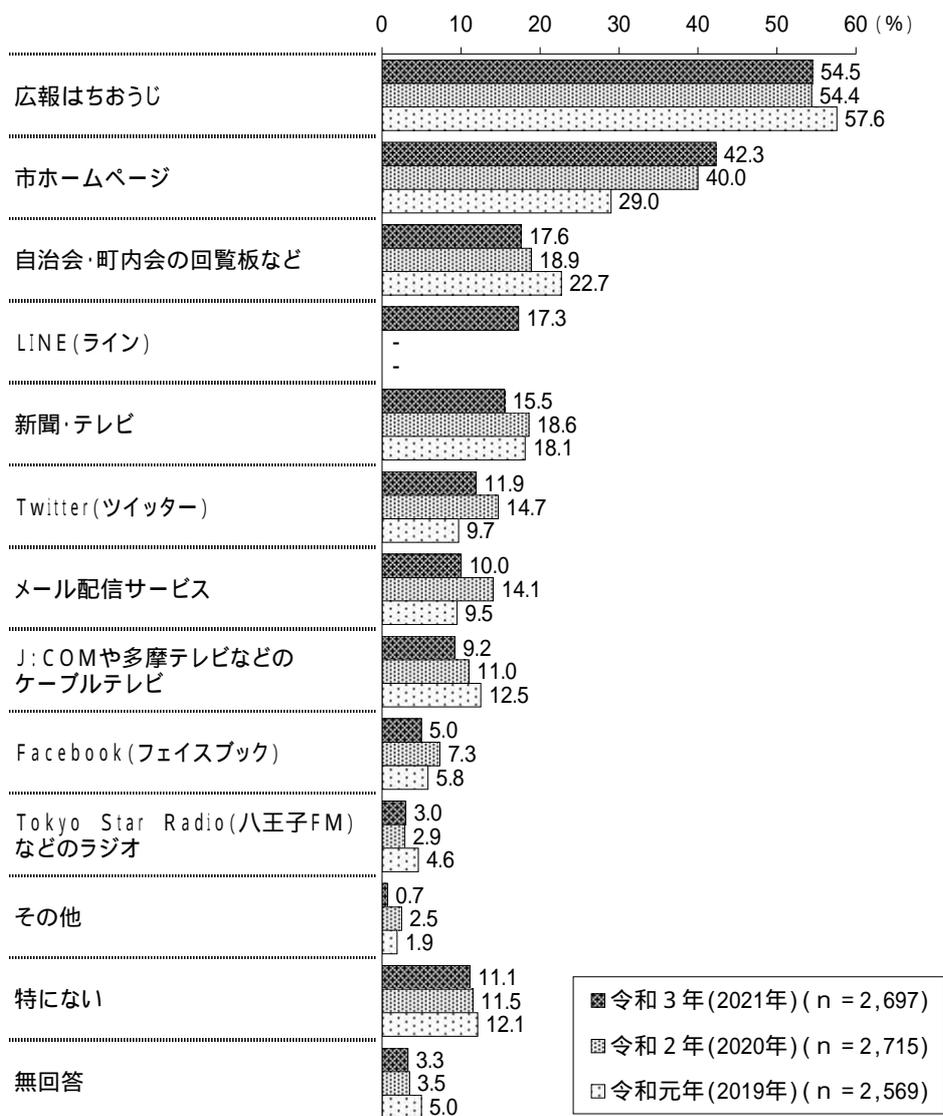
居住地域別にみると、「紙媒体での各戸配布と電子版の公開の両方が適当である（現行の対応）」は浅川・横山・館（西南部地域）（66.9%）で7割近くと多くなっている。（図2 - 10 - 3）

## (11) 今後充実させた方が良い広報媒体

「広報はちおうじ」が5割台半ば

問15 今後、市が情報を発信する上で、さらに充実させた方が良いと思うもの、または、積極的に活用した方が良いと思うものは何ですか。(はいいくつでも)

図2-11-1 今後充実させた方が良い広報媒体 - 全体、経年比較



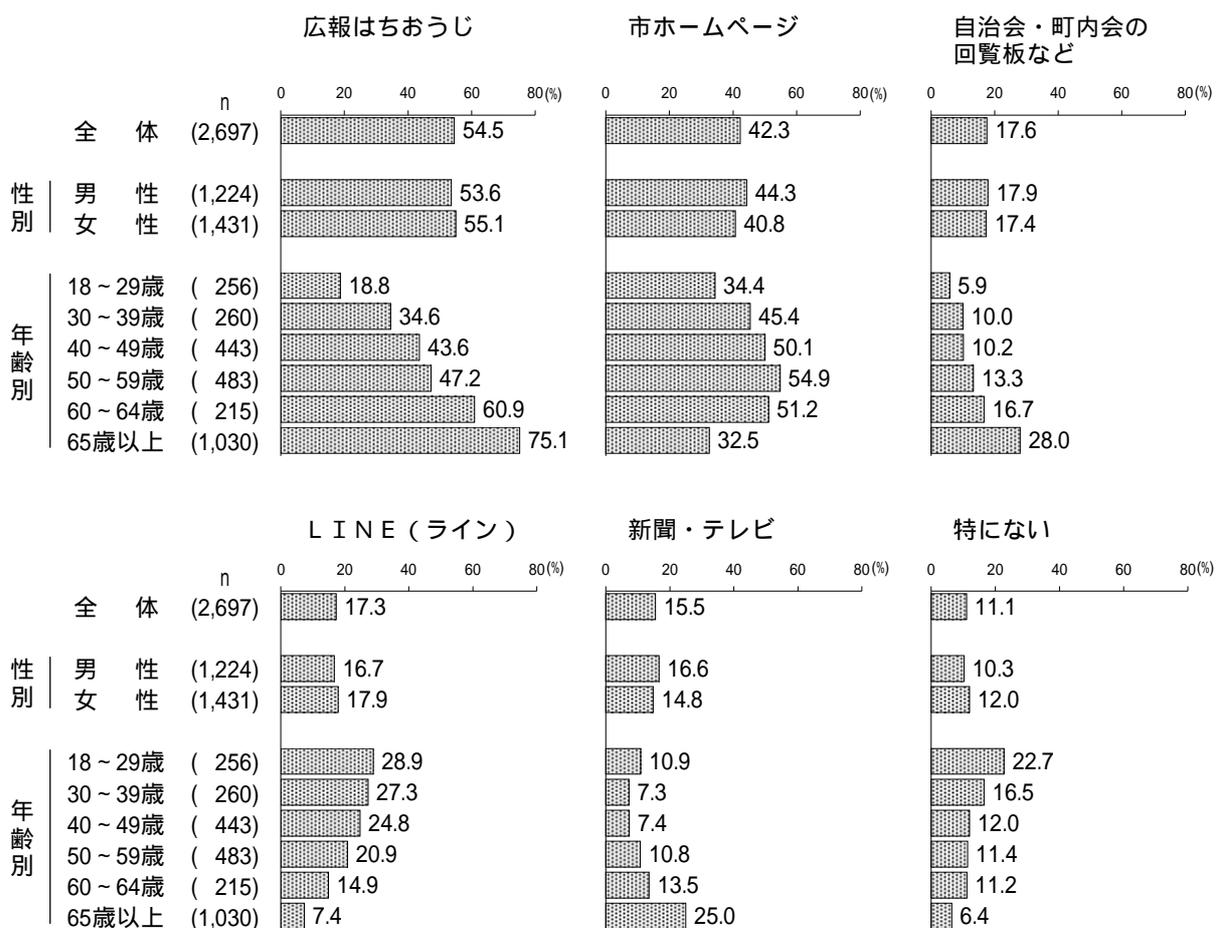
(注)「LINE(ライン)」は、令和3年(2021年)から追加された選択肢。

(注)「Tokyo Star Radio(八王子FM)などのラジオ」は、令和元年(2019年)までは、「八王子FMなどのラジオ」としていた。

今後充実させた方が良いと思う広報媒体を聞いたところ、「広報はちおうじ」(54.5%)が5割台半ばで最も多くなっている。次いで「市ホームページ」(42.3%)、「自治会・町内会の回覧板など」(17.6%)、「LINE(ライン)」(17.3%)、「新聞・テレビ」(15.5%)などの順となっている。

前回までの調査と比較すると、「市ホームページ」は令和2年(2020年)(40.0%)より2.3ポイント増加している。一方、「メール配信サービス」は令和2年(2020年)(14.1%)より4.1ポイント減少している。(図2-11-1)

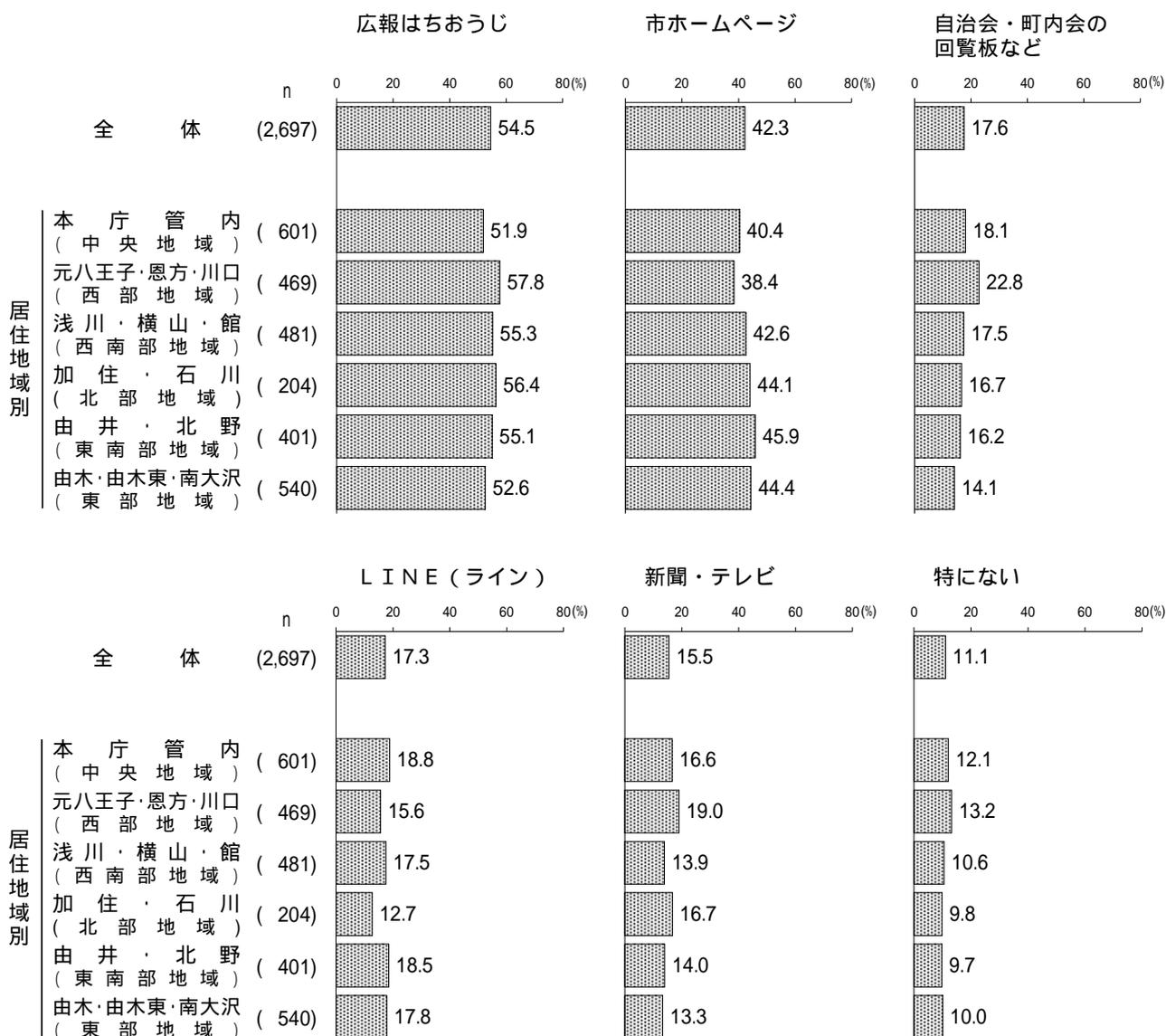
図2 - 11 - 2 今後充実させた方がよい広報媒体 - 性別、年齢別（上位5位 + 「特にない」）



性別にみると、「市ホームページ」は男性（44.3%）が女性（40.8%）より3.5ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「広報はちおうじ」は年代が高くなるほど割合が高く、65歳以上（75.1%）で7割台半ばと多くなっている。「市ホームページ」は50～59歳（54.9%）で5割台半ばと多くなっている。「LINE(ライン)」は年代が低くなるほど割合が高く、18～29歳（28.9%）と30～39歳（27.3%）で3割近くと多くなっている。（図2 - 11 - 2）

図2 - 11 - 3 今後充実させた方が良い広報媒体 - 居住地域別（上位5位 + 「特にない」）



居住地域別にみると、「広報はちおうじ」は元八王子・恩方・川口(西部地域)(57.8%)と加住・石川(北部地域)(56.4%)で6割近くと多くなっている。「市ホームページ」は由井・北野(東南部地域)(45.9%)と由木・由木東・南大沢(東部地域)(44.4%)と加住・石川(北部地域)(44.1%)で4割台半ばと多くなっている。(図2 - 11 - 3)

## (12) 市の情報発信に関する意見(自由意見)

問16 市からの情報発信について、ご意見がありましたらご自由にお書きください。(自由記述)

市の情報発信に関する意見を自由記述形式で聞いたところ、230人から回答があった。その中から抜粋した意見を掲載する。なお、内容については、記述の趣旨を損なわないように留意しながら一部要約したものがある。

- 各SNSの使い分けをするとよいかと思います。Facebookなら八王子の企業のビジネスシーンを意識した記事、Instagramならお店や観光情報などの集客記事にするなど…。サービスの使い分けで、市民が何を見に行けばいいのかわかりやすくなると思います。(男性18~29歳)
- SNSでの情報発信を充実させてほしい。私を含めて若者は紙媒体をあまり読まない。また、発信するだけでなく市民と行政の双方向コミュニケーションができるとよいと感じた。  
(男性18~29歳)
- 災害時、Twitter等の現地情報をまとめて見れたり、市の防災情報をまとめて確認できるサイトがあれば、その活用方法について周知いただけるとありがたいなあ、と思います。  
(女性40~49歳)
- 電子版(FacebookやTwitterなど)で手軽に情報を得られる反面、手軽さから言えば、紙媒体や地域の回覧なども、必要だと思う。年代別で利用方法は様々だと思うので、しばらくは両方の方法で発信すべきだと思う。(女性50~59歳)
- 市ホームページを時々見るが、知りたい情報を探しにくい時がある。チャート式などで知りたい事の窓口へ誘導してもらえそうな作りにして欲しい。(女性50~59歳)
- 災害時に市ホームページにつながらなかった。避難所の検索ができなかった。市民のFacebookから情報をもらいました。(女性50~59歳)
- 他県からきた学生さんは「広報はちおうじ」を読まずに廃棄しています。ポストにかまわず入れるのは大変もったいなく、ムダに思います。台風や、雨が深い時に防災無線は全く聞こえません。その為にもLINEやSNSを活用させた方がよいと思います。(女性50~59歳)
- 各々必要とする、関心のある情報を登録し、それがLINEなりメールで市から新情報がある時に登録者に送られてくると有難い。(現在防犯課より防犯情報は送ってもらっています。何に気をつけなければいけないのかわかるのでとても助かります。)(女性50~59歳)
- 「広報はちおうじ」に市民からの投書欄があると面白いと思う。子供達のイラストとか…お悩み相談とか…。あとはクロスワードパズルとかも。もっと市民が読みたくなるような広報にした方がよいと思う。(女性50~59歳)
- 災害時には、ケーブルテレビをもっと活用して、情報を教えてほしい。(女性65歳以上)
- 外国語のページが機械翻訳で提供されているが、英語を見て誤りが多いように感じる。八王子市のホームページの情報を必要とする外国の方がどのくらい居るか分からないが、提供している情報をその方たちの切実なニーズに合わせて簡素で正確なものにした方がよいと思う。  
(男性65歳以上)